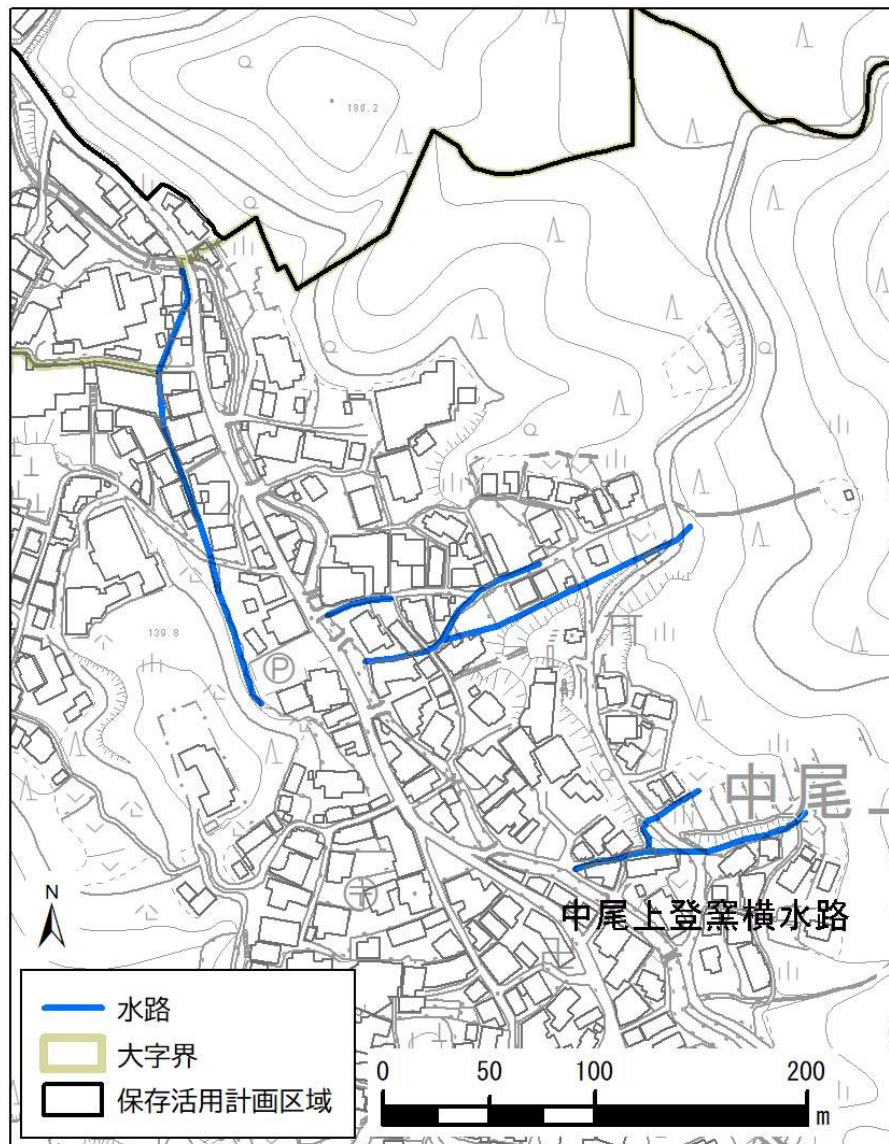


番号	36(C-Ri2)	種類	水路
景観単位	窯業集落区域	指定等	
要素名	中尾上登窯跡横水路		
所在地	波佐見町中尾郷の一部		
所有者		管理者	中尾郷
維持・保存対象	・水路:C-Ri2 の河道、幅、深さ		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の変更		

#### 概要及び特徴・価値

登り窯の傍らには、窯への水の流入を防ぐために、排水機能を有する水路が設けられた。また、この水路に失敗品を投棄して中尾川へ押し流し、登り窯が失敗品に埋もれることがないようにしていた。このように、登り窯の傍らに設けられた水路は、登り窯の運用に重要な意味を持っていた。

#### 位置図





中尾上登窯横水路（西 下流から）

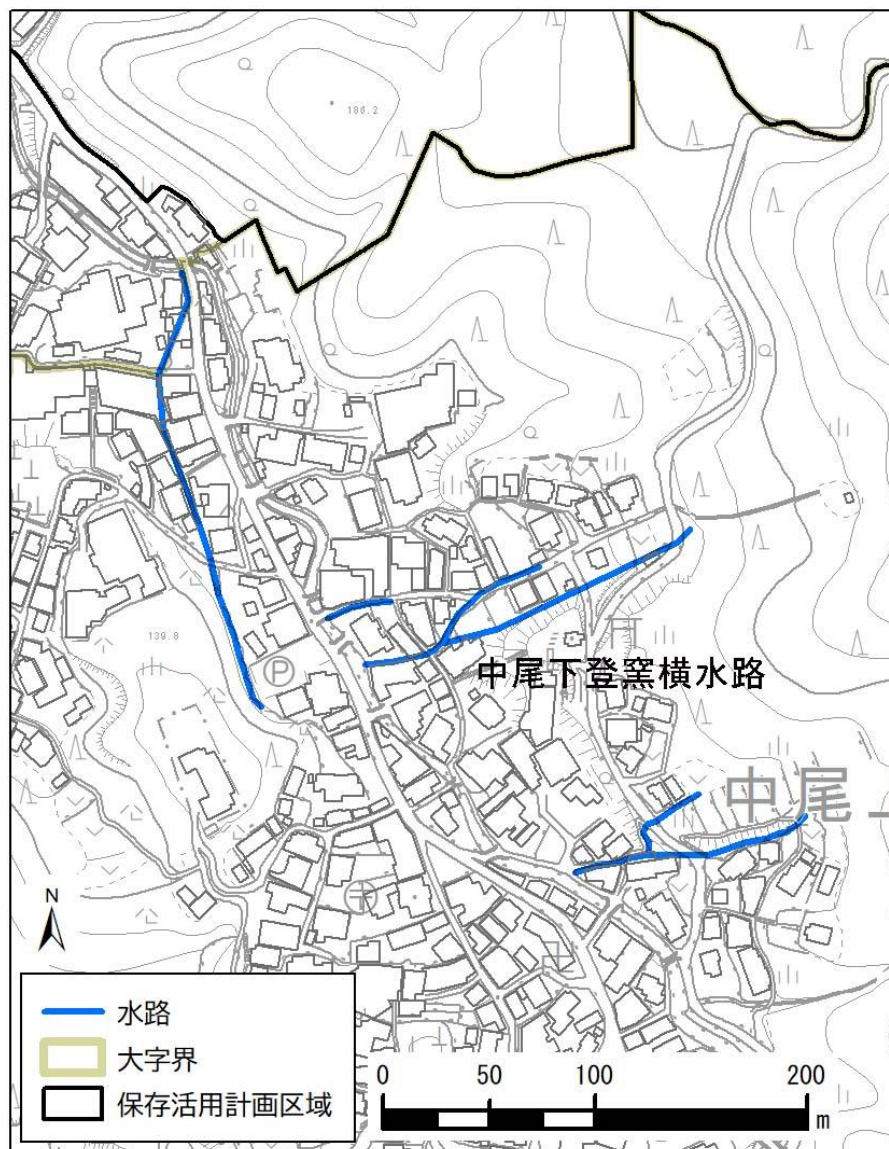


番号	37(C-Ri3)	種類	水路
景観単位	窯業集落区域	指定等	
要素名	中尾下登窯跡横水路		
所在地	波佐見町中尾郷の一部		
所有者		管理者	中尾郷
維持・保存対象	・水路:C-Ri3 の河道、幅、深さ		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の変更		

#### 概要及び特徴・価値

登り窯の傍らには、窯への水の流入を防ぐために、排水機能を有する水路が設けられた。また、この水路に失敗品を投棄して中尾川へ押し流し、登り窯が失敗品に埋もれることがないようにしていた。このように、登り窯の傍らに設けられた水路は、登り窯の運用に重要な意味を持っていた。

#### 位置図





中尾下登窯横水路（東 上流から）

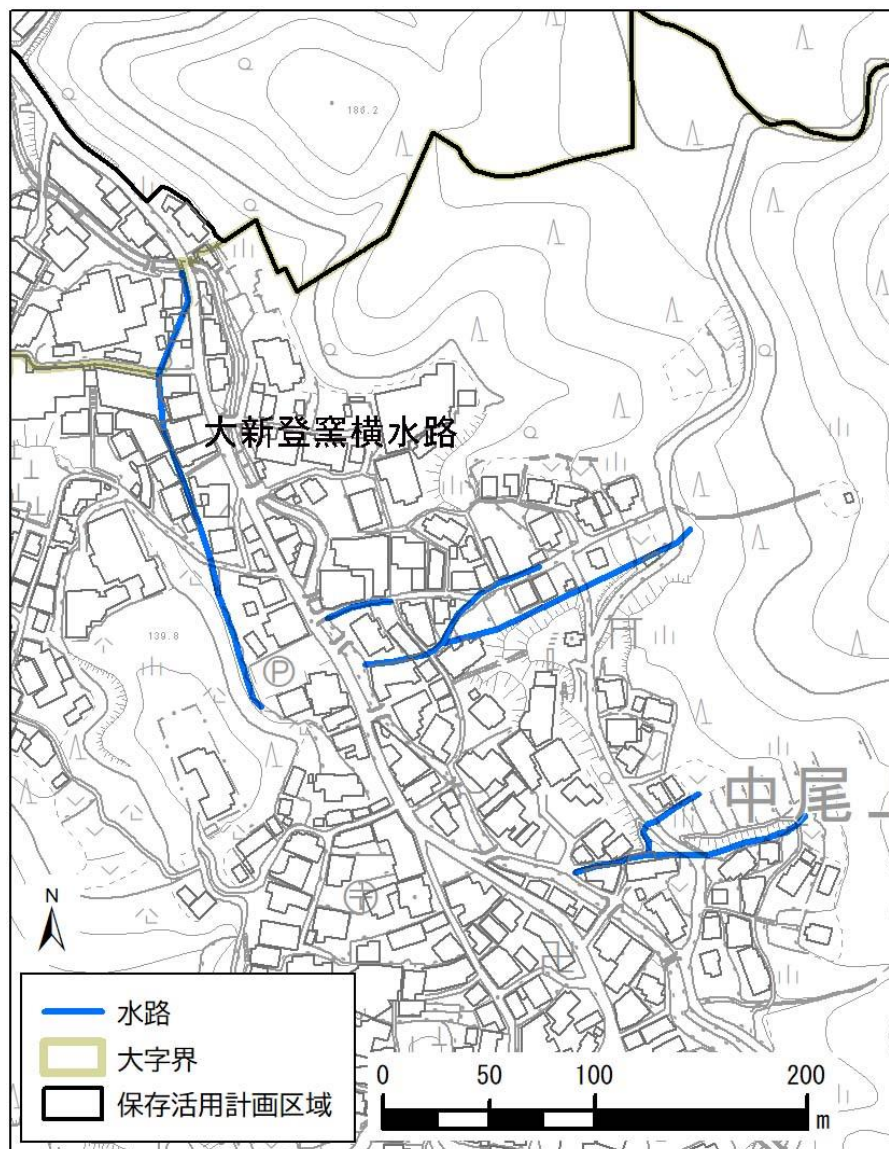


番号	38(C-Ri4)	種類	水路
景観単位	窯業集落区域	指定等	
要素名	大新登窯跡横水路		
所在地	波佐見町中尾郷の一部		
所有者		管理者	中尾郷
維持・保存対象	・水路:C-Ri4 の河道、幅、深さ		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の変更		

#### 概要及び特徴・価値

登り窯の傍らには、窯への水の流入を防ぐために、排水機能を有する水路が設けられた。また、この水路に失敗品を投棄して中尾川へ押し流し、登り窯が失敗品に埋もれることがないようにしていた。このように、登り窯の傍らに設けられた水路は、登り窯の運用に重要な意味を持っていた。

#### 位置図





大新登窯横水路（南 上流から）



番号	39(C-V2)	種類	視点場			
景観単位	窯業集落区域	指定等				
要素名	山神社付近展望所					
所在地	波佐見町中尾郷610-4					
所有者	波佐見町	管理者				
維持・保存対象	・敷地（視点場：C-V2） の位置と外観					
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	・上記維持・保存対象の位置と外観の変更					
概要及び特徴・価値						
中尾郷の窯業集落を構成する大新登窯跡、レンガ煙突、家屋などが、東側から一望できる。とくに中尾郷内に存在する8基のレンガ煙突を全てこの展望所からみることができる。						
位置図						
						



山神社付近展望所（南東から）



山神社付近展望所からの眺望（東から）



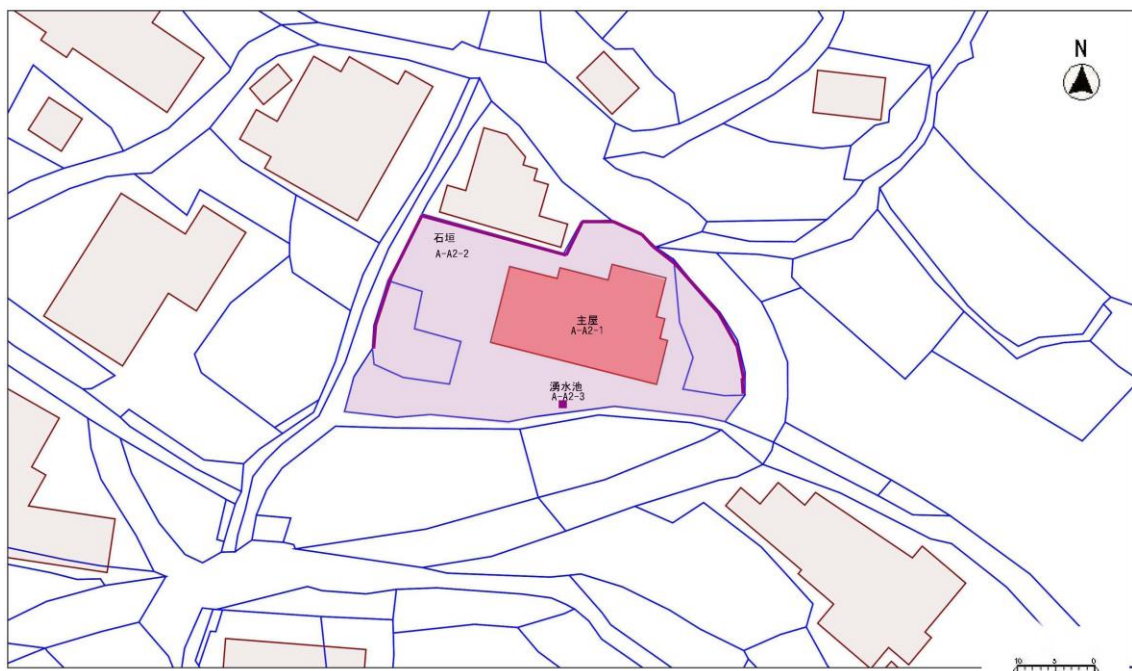
番号	40(A-A2)	種類	農家住宅
景観単位	農業集落区域	指定等	
要素名	F.S.家住宅		
所在地	波佐見町鬼木郷598-1他		
所有者	個人	管理者	
維持・保存対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地</li> <li>・建築物（F.S.家主屋:A-A2-1）</li> <li>・工作物（石垣:A-A2-2）</li> <li>・湧水池:A-A2-3の位置と外観</li> </ul>		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

#### 概要及び特徴・価値

主屋は、階数2、梁間7、木造、鉤屋、入母屋、瓦葺き、平入り。平面形状は五間取り。かつては作業小屋である納屋が隣接していた。明治期に建造、昭和30年に藁葺きから瓦葺きに葺き替えられ、昭和50年代に外壁と瓦の改修工事が行われている。

当地における農業家屋の伝統的な建造物であり、また、道具や作物の洗浄を行っていた湧水池が存在する。鬼木郷における伝統的な農業家屋の様相を今に伝えている住宅である。

#### 位置図





F. S. 家住宅（西から）



F. S. 家住宅（東から）

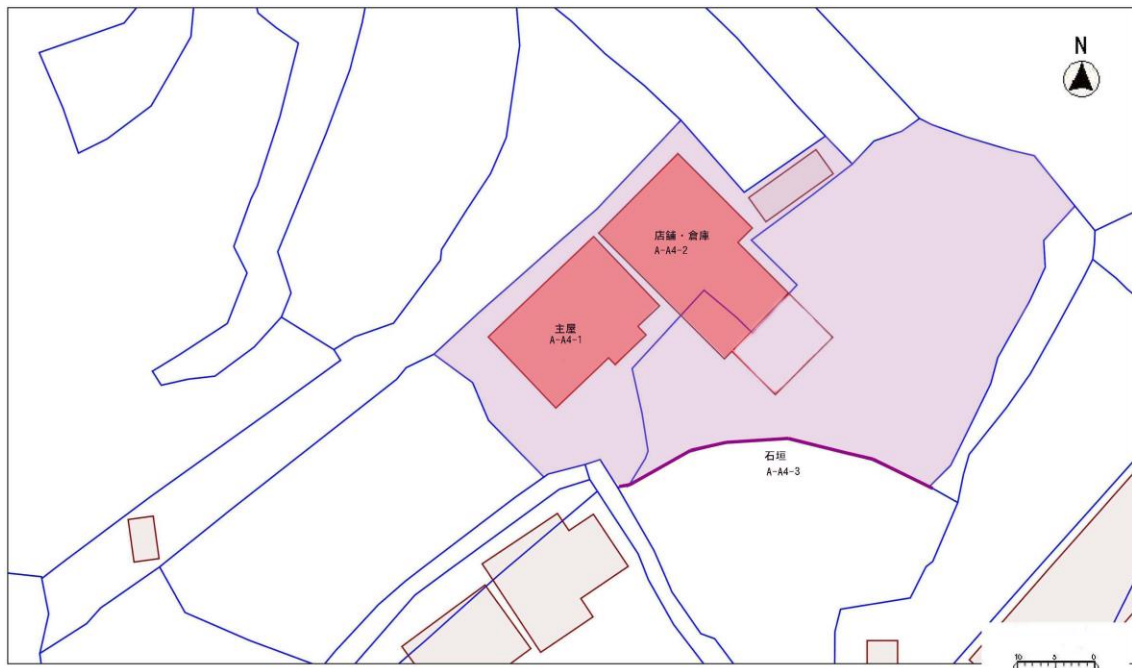


番号	41(A-A4)	種類	農家住宅
景観単位	農業集落区域	指定等	
要素名	H.K.家住宅		
所在地	波佐見町鬼木郷25他		
所有者	個人	管理者	
維持・保存対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地</li> <li>・建築物（H.K.家主屋:A-A4-1、店舗・倉庫:A-A4-2）</li> <li>・工作物（石垣:A-A4-3）の位置と外観</li> </ul>		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

#### 概要及び特徴・価値

主屋は、階数2、梁間5.5、木造、直屋、入母屋、瓦葺き、平入り。平面形状は五間取り。昭和11年に建造、昭和45年にセメント瓦から燻瓦に葺き替えられた。平成3年、平成20年に改修が行われている。店舗・倉庫は、階数1、梁間4、木造、直屋、切妻、瓦葺き、平入り。  
鬼木郷における伝統的な農業家屋の様相を今に伝えている住宅である。

#### 位置図





H. K. 家住宅（南から）



H. K. 家住宅（南西から）



番号	42(A-A7)	種類	農家住宅
景観単位	農業集落区域	指定等	
要素名	T.Y.家住宅		
所在地	波佐見町鬼木郷180		
所有者	個人	管理者	
維持・保存対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地</li> <li>・建築物（T.Y.家主屋:A-A7-1、作業場:A-A7-2、倉庫:A-A7-3）</li> <li>・工作物（石垣:A-A7-4）の位置と外観</li> </ul>		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

#### 概要及び特徴・価値

主屋は、階数2、梁間5.5、木造、直屋、入母屋、瓦葺き、平入り。平面形状は四間取り。明治期に建造、昭和43年に藁葺きから瓦葺きに葺き替え、改修が行われた。また、昭和57年にも改修が行われている。作業場は、階数1、梁間3、木造、直屋、切妻、瓦葺き、平入り。車庫は、階数1、梁間4、木造、鉤屋、切妻、瓦葺き、平入り。

鬼木郷における伝統的な農業家屋の様相を今に伝えている住宅である。

#### 位置図





T.Y. 家住宅（東から）



T.Y. 家住宅（南東から）



番号	43(A-A8)	種類	農家住宅
景観単位	農業集落区域	指定等	
要素名	M.H.家住宅		
所在地	波佐見町鬼木郷183他		
所有者	個人	管理者	
維持・保存対象	・敷地 ・建築物（M.H.家主屋:A-A8-1、倉庫:A-A8-2） ・工作物（石垣:A-A8-3） の位置と外観		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		
概要及び特徴・価値			
主屋は、階数2、梁間5、木造、直屋、切妻、瓦葺き、平入り。平面形状は五間取り。大正期に建造、平成2年には曳屋による移動と改修が行われた。倉庫は、階数1、梁間4、木造、直屋、切妻、瓦葺き、平入り。 鬼木郷における伝統的な農業家屋の様相を今に伝えている住宅である。			

位置図





M. H. 家住宅（東から）



M. H. 家住宅（南から）



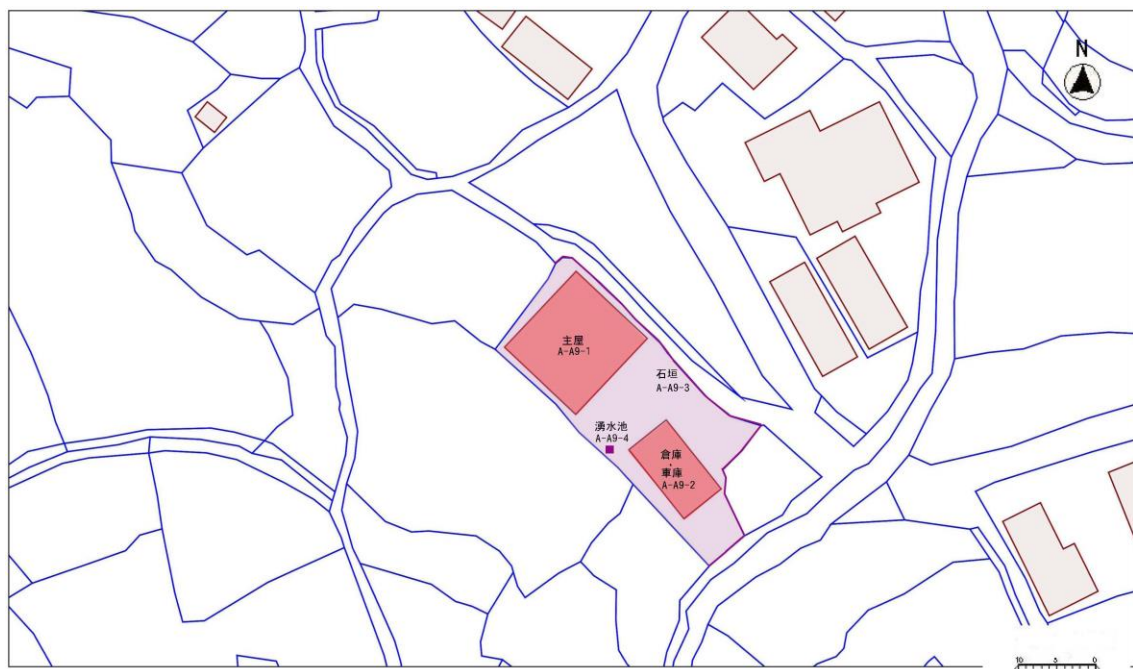
番号	44(A-A9)	種類	農家住宅
景観単位	農業集落区域	指定等	
要素名	Y.M.家住宅		
所在地	波佐見町鬼木郷1212		
所有者	個人	管理者	
維持・保存対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地</li> <li>・建築物（Y.M.家主屋:A-A9-1、倉庫・車庫:A-A9-2）</li> <li>・工作物（石垣:A-A9-3）</li> <li>・湧水池:A-A9-4の位置と外観</li> </ul>		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

#### 概要及び特徴・価値

主屋は、階数2、梁間6、木造、直屋、入母屋、瓦葺き、平入り。平面形状は五間取り。明治期に建造、昭和43年に建て替えられている。倉庫・車庫は、階数2、梁間4、木造、直屋、切妻、瓦葺き、平入り。道具や作物の洗浄を行っていた湧水池も存在する。

鬼木郷における伝統的な農業家屋の様相を今に伝えている住宅である。

#### 位置図





Y. M. 家住宅（南東から）



Y. M. 家住宅（東から）



番号	45(A-A10)	種類	農家住宅
景観単位	農業集落区域	指定等	
要素名	K.S.家住宅		
所在地	波佐見町鬼木郷1207		
所有者	個人	管理者	
維持・保存対象	・敷地 ・建築物（K.S.家主屋:A-A10-1、倉庫:A-A10-2） ・工作物（石垣:A-A10-3）の位置と外観		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		
概要及び特徴・価値			
主屋は、階数2、梁間6、木造、鉤屋、入母屋、瓦葺き、平入り。平面形状は四間取り。大正期に建造、昭和43年に藁葺きから瓦葺きに葺き替え、昭和51年に改修が行われている。倉庫は、階数1、梁間4、木造、直屋、入母屋、瓦葺き、平入り。 鬼木郷における伝統的な農業家屋の様相を今に伝えている住宅である。			

位置図





K. S. 家住宅（南から）



K. S. 家住宅（北西から）

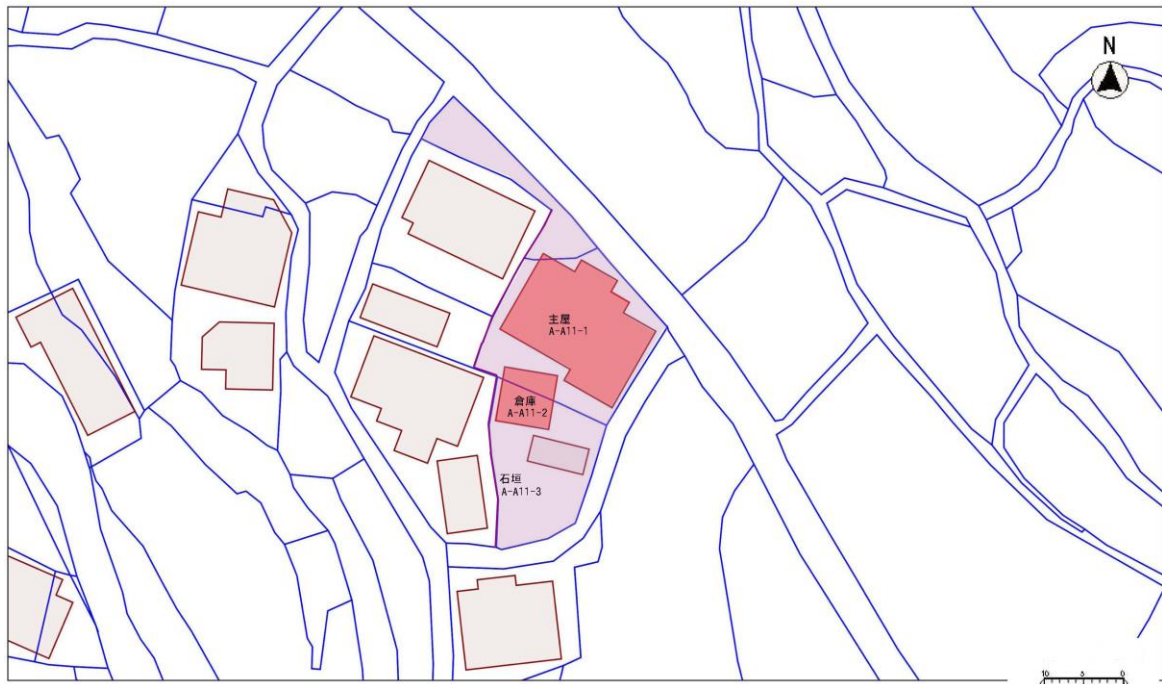


番号	46(A-A11)	種類	農家住宅
景観単位	農業集落区域	指定等	
要素名	Y.H.家住宅		
所在地	波佐見町鬼木郷1421他		
所有者	個人	管理者	
維持・保存対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地</li> <li>・建築物（Y.H.家主屋:A-A11-1、倉庫:A-A11-2）</li> <li>・工作物（石垣:A-A11-3）</li> </ul>		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

#### 概要及び特徴・価値

主屋は、階数2、梁間6、木造、鉤屋、切妻、瓦葺き、平入り。平面形状は四間取り。昭和3年に建造、昭和45年増築、昭和56年に改修が行われている。倉庫は、階数1、梁間3、木造、直屋、切妻、瓦葺き、平入り。鬼木郷における伝統的な農業家屋の様相を今に伝えている住宅である。

#### 位置図





Y.H. 家住宅（北から）



Y.H. 家住宅（南から）



番号	47(A-A12)	種類	農家住宅
景観単位	農業集落区域	指定等	
要素名	H.T.家住宅		
所在地	波佐見町鬼木郷1140		
所有者	個人	管理者	
維持・保存対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地</li> <li>・建築物（H.T.家主屋:A-A12-1、倉庫:A-A12-2）</li> <li>・工作物（石垣:A-A12-3）</li> <li>・湧水池:A-A12-4の位置と外観</li> </ul>		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

#### 概要及び特徴・価値

主屋は、階数2、梁間6、木造、鉤屋、入母屋、瓦葺き、平入り。平面形状は四間取り。昭和初期に建造、昭和50年と平成30年に改修が行われている。倉庫は、階数2、梁間6、木造、直屋、切妻、瓦葺き、平入り。また、道具や作物の洗浄を行っていた湧水池も存在する。

鬼木郷における伝統的な農業家屋の様相を今に伝えている住宅である。

#### 位置図





H. T. 家主屋（南から）



H. T. 家主屋（南から）



番号	48 (A-H1)	種類	一般住宅
景観単位	農業集落区域	指定等	
要素名	キョトテラス		
所在地	波佐見町鬼木郷590-2他		
所有者	波佐見町	管理者	
維持・保存対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地</li> <li>・建築物（キョトテラス主屋:A-H1-1）</li> <li>・工作物（石垣:A-H1-2）</li> <li>・湧水池:A-H1-3の位置と外観</li> </ul>		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

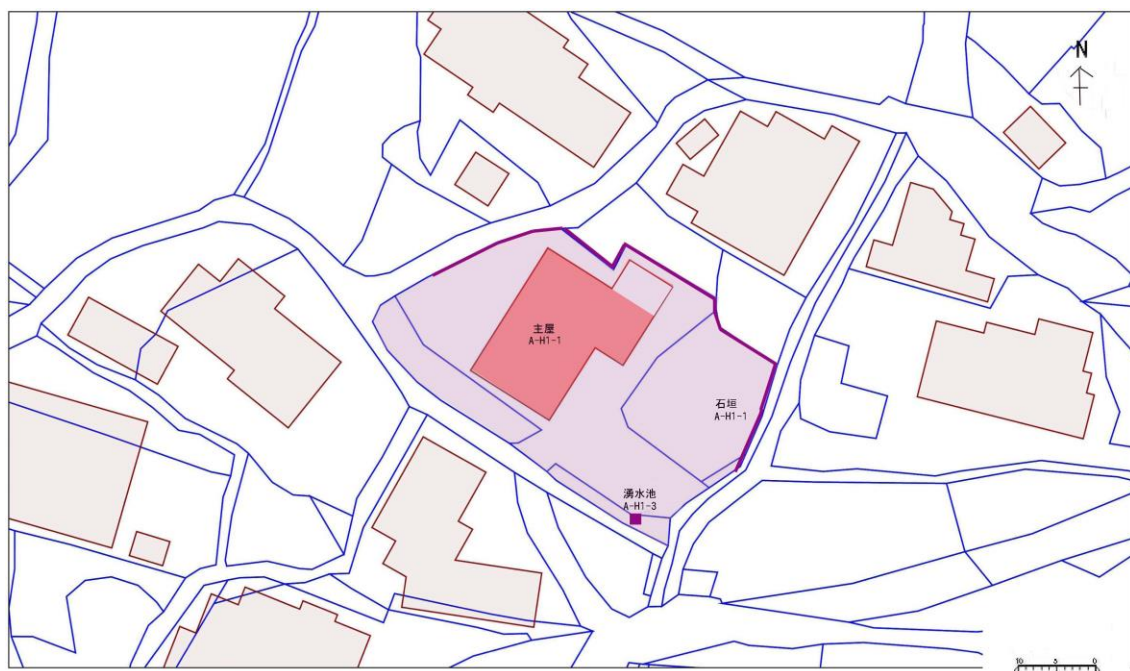
#### 概要及び特徴・価値

主屋は、階数2、梁間6、木造、鉤屋、入母屋、瓦葺き、平入り。平面形状は五間取り。江戸期に建造、令和5年には大規模な改修が行われている。

所有者である藤野氏は、江戸期、武士階級ではないが、当地における有力者であった可能性が高く、それを物語るように、一般庶民は設置できない式台が戸口の隣に設けられている。

当時の鬼木郷における有力者の住居として貴重な建造物である。現在は、民泊施設に改修され、令和7年度から運用開始の予定である。

#### 位置図





キョトテラス（南東から）



キョトテラス 式台（南東から）



番号	49(A-H2)	種類	一般住宅
景観単位	農業集落区域	指定等	
要素名	O.N.家住宅		
所在地	波佐見町鬼木郷243-1		
所有者	個人	管理者	
維持・保存対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地</li> <li>・建築物（O,N,家主屋:A-H2-1）</li> <li>・工作物（石垣:A-H2-2）</li> <li>・湧水池:A-H2-3の位置と外観</li> </ul>		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

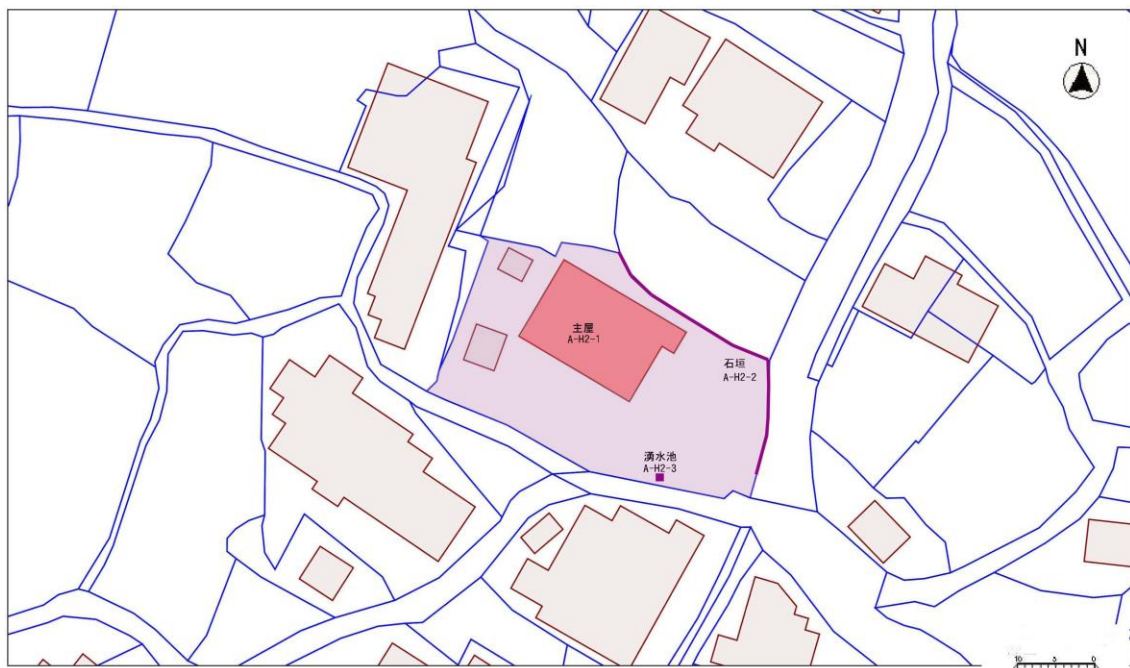
#### 概要及び特徴・価値

主屋は、階数2、梁間6、木造、直屋、入母屋、瓦葺き、平入り。平面形状は四間取り。江戸期に建造、明治38年に大規模な改修、昭和40年代にも改修が行われている。

建設当時の所有者である渋江氏は、江戸期、武士階級であり、戸口の隣には、一般庶民層は設置できない式台が設けられている。なお、渋江家には大村藩に関連する資料が多く残され、一部は波佐見町有形文化財に指定されている。

鬼木郷における武士階級の住空間を今に伝える貴重な物件である。

#### 位置図





O.N. 家住宅（南から）



O.N. 家住宅（東から）

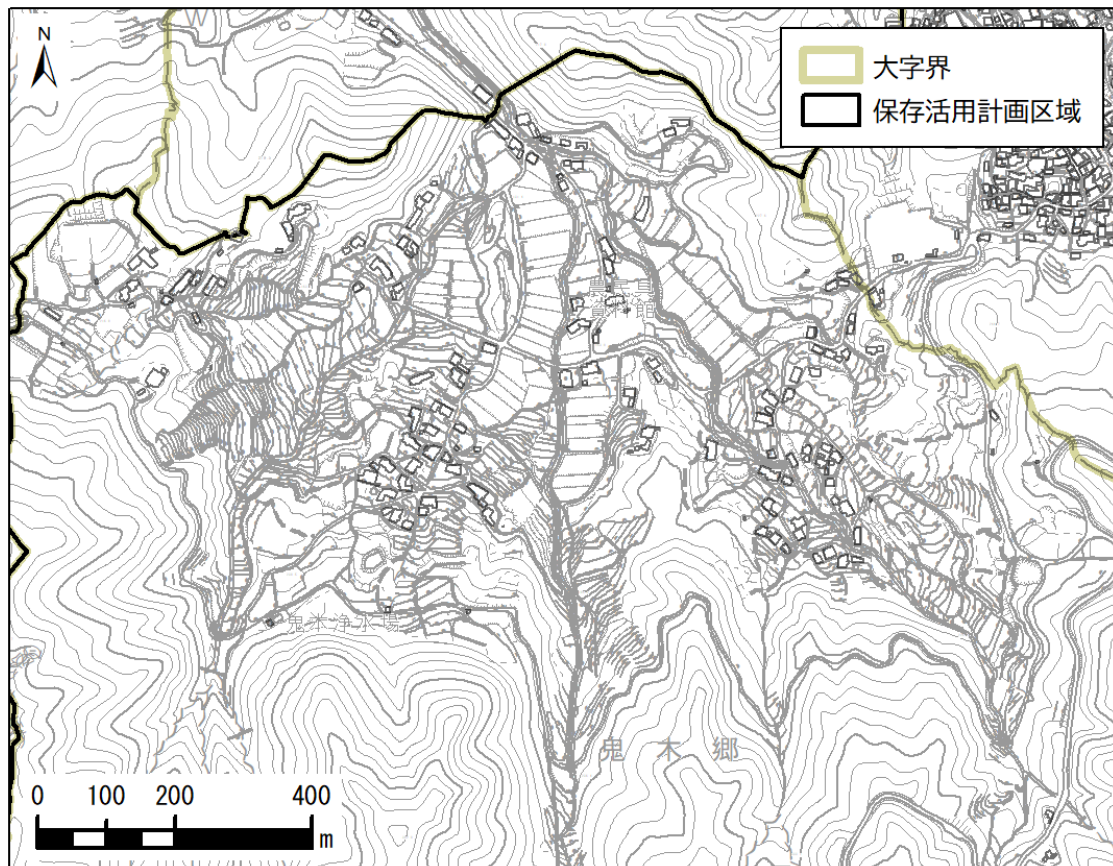


番号	50(A-Sw)	種類	石垣
景観単位	農業集落区域	指定等	
要素名	鬼木郷内石垣		
所在地	波佐見町鬼木郷全域		
所有者		管理者	鬼木郷
維持・保存対象	・工作物（石垣:A-Sw） の位置と外観		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

#### 概要及び特徴・価値

鬼木郷は集落が基本的に斜面上に形成されていることから、石垣を築いて平地を造成し、住宅や作業場などの生活空間を確保している。そのために、郷内各所には石垣が多くみられる。石垣の石材には、棚田と同じく郷内で産出する凝灰角礫岩を用いている。

#### 位置図







鬼木郷内石垣



鬼木郷内石垣

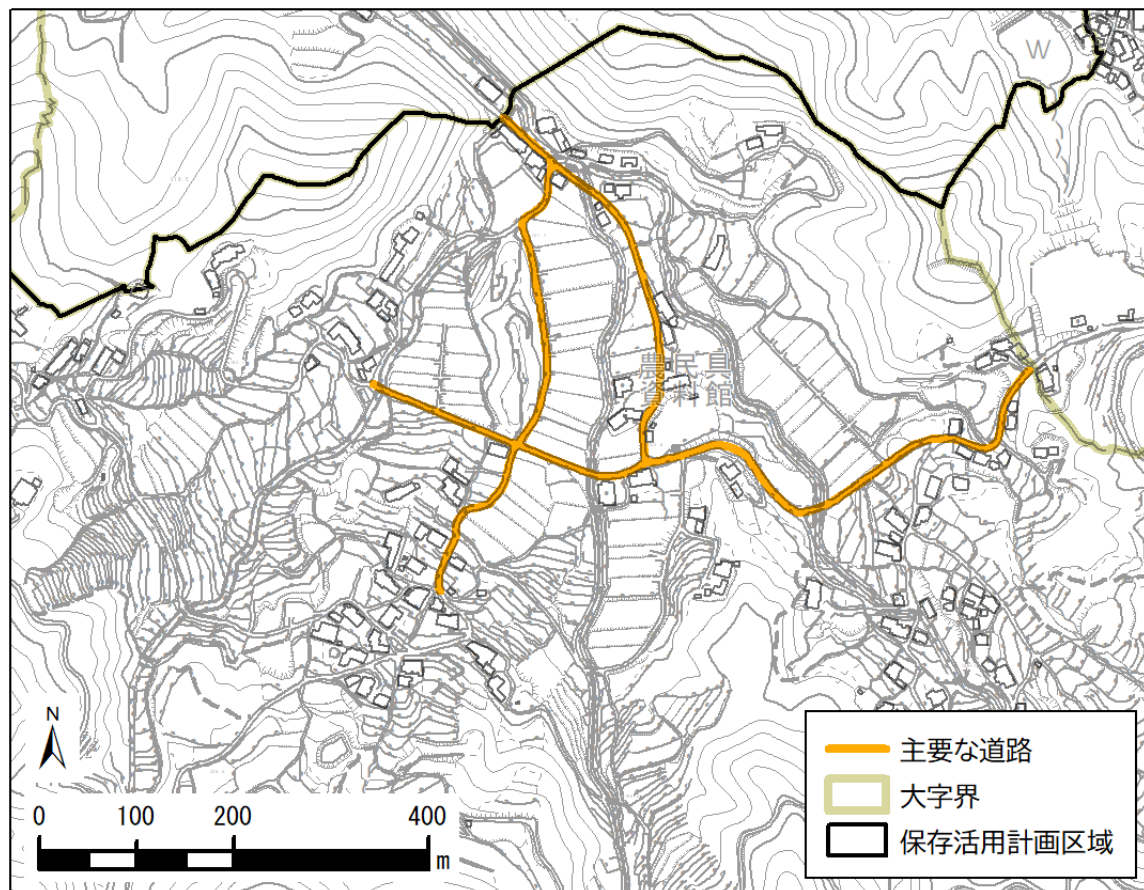


番号	51(A-Ro1)	種類	道路
景観単位	農業集落区域	指定等	
要素名	主要な道路（鬼木）		
所在地	波佐見町鬼木郷全域		
所有者		管理者	波佐見町
維持・保存対象	・ 主要な道路（主要な道路：A-Ro1） の位置、幅員		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	・ 上記維持・保存対象の変更		

#### 概要及び特徴・価値

鬼木郷を通る幅員4m以上の道路。①中尾郷へ東に向かう道、②井石郷へ北に向かう道、③郷中央部を南北には走る道、④郷中央部を東西に走る道がある。江戸期以来の道は幅員がより狭いものであったと想定されるが、20世紀以降、現在のように整備された。例年9月に開催される「鬼木棚田まつり」では、郷中央部を東西に走る道を中心にして、100体を越える創作かかしが並べられる。

#### 位置図





主要な道路①（南西より）



主要な道路②（北西より）



主要な道路③（北より）



主要な道路④（北西より）

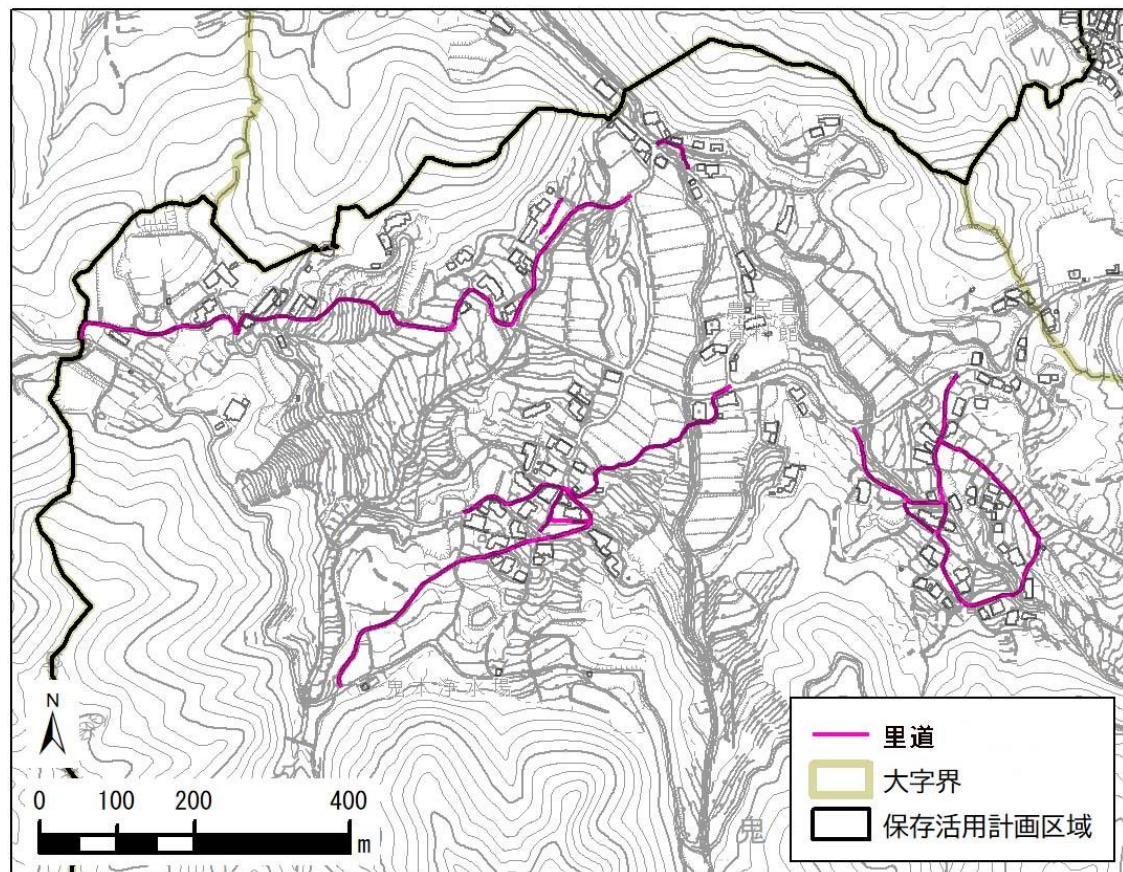


番号	52(A-Ro2)	種類	道路
景観単位	窯業集落区域	指定等	
要素名	里道		
所在地	波佐見町鬼木郷全域		
所有者		管理者	鬼木郷
維持・保存対象	・道路（里道：A-Ro2） の位置、幅員		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	・上記維持・保存対象の変更		

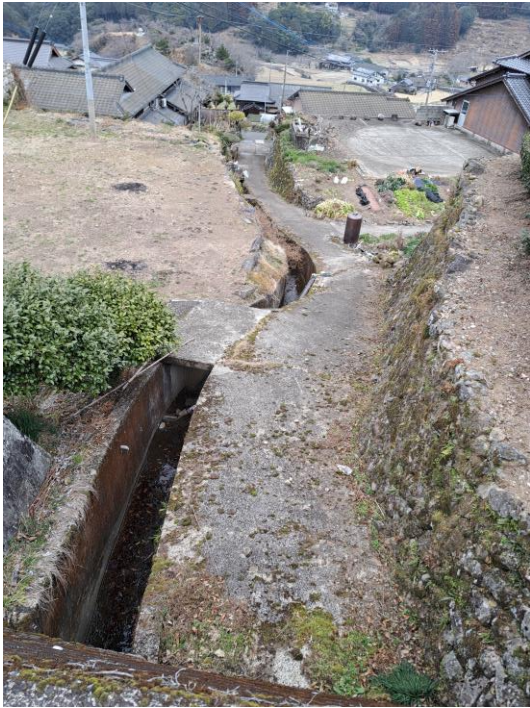
#### 概要及び特徴・価値

鬼木郷の各所を通る幅員4m以下の細い道路。江戸期より住宅や棚田を結ぶ道として利用されてきた。古い時代の道の様相を良く残している。

#### 位置図







キョトテラスからO.N. 家住宅へ



キョトテラスからF.S. 家住宅へ



H.T. 家住宅へ



M.H. 家住宅下



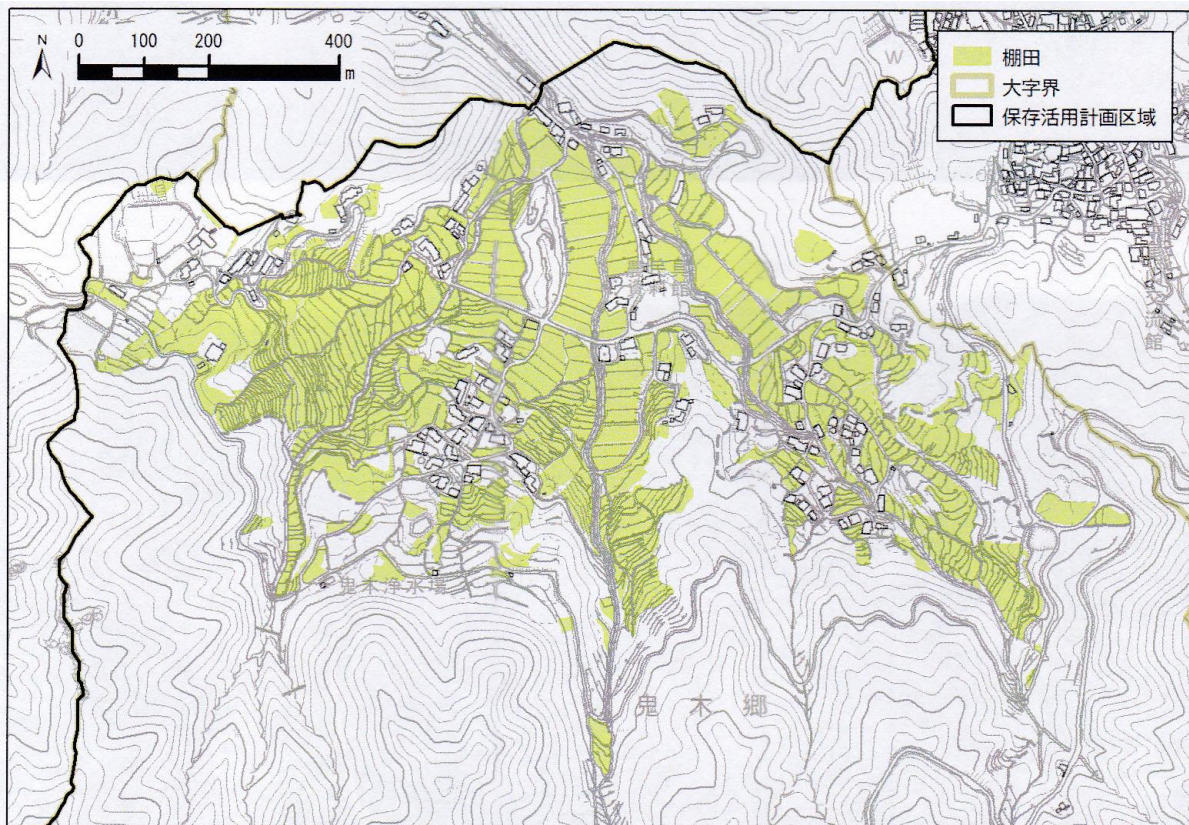
番号	53(R-Rt-1)	種類	棚田
景観単位	棚田区域	指定等	「鬼木棚田と集落」：長崎県まちづくり景観資産
要素名	棚田		
所在地	波佐見町鬼木郷全域		
所有者		管理者	鬼木棚田協議会
維持・保存対象	・棚田（棚田:R-Rt-1） の位置と外観		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

#### 概要及び特徴・価値

鬼木郷の南側の山々は約 250～220 万年前に噴火した虚空蔵火山の噴出物である凝灰角礫岩で覆われている。この凝灰角礫岩は脆弱であり、長年にわたり小規模な崩落を繰り返した結果、鬼木郷にはなだらかな斜面が広がることになった。また、凝灰角礫岩は、多孔質で吸水性があり豊富な水を保持し易く、このことは郷内に 3 本の河川が流れる背景となった。

鬼木郷では、近世以降、なだらかな斜面に凝灰角礫岩を石積みすることによって棚田が発展し、3 本の河川は棚田に豊富な水を供給してきた。このように、鬼木郷では特徴的な地形・地質を活かしながら、棚田を中心とした営農が行われてきた。

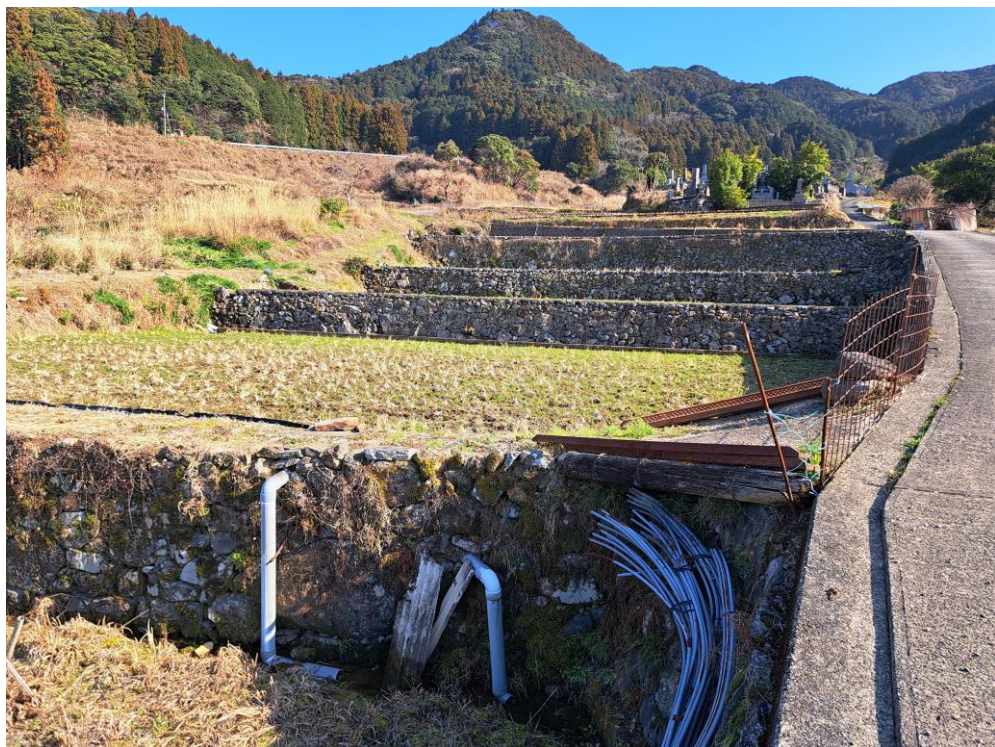
#### 位置図







棚田（東から）



棚田（北西から）



番号	54(R-Rt2)	種類	水利システム
景観単位	棚田区域	指定等	
要素名	水利システム（棚田）		
所在地	波佐見町鬼木郷全域		
所有者		管理者	鬼木棚田協議会
維持・保存対象	・水利システム（ガマ・ヨセ:R-Rt2） の位置と外観		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

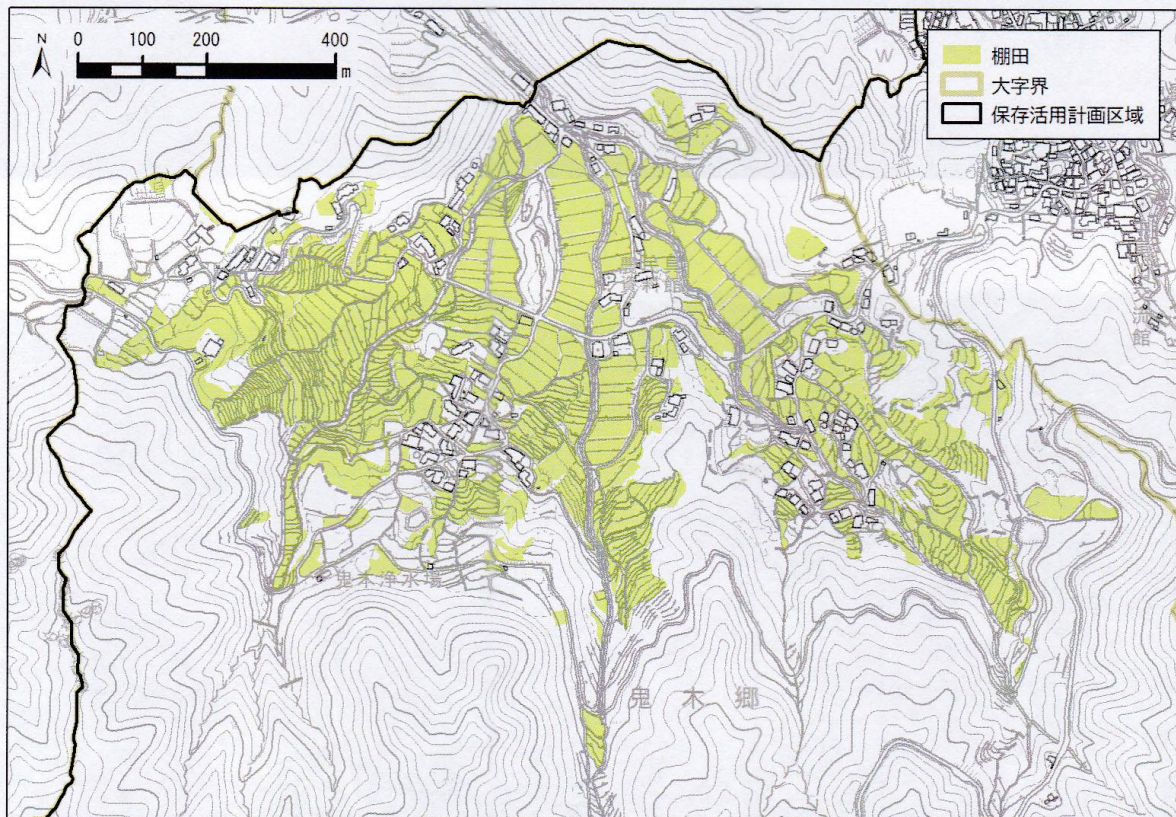
#### 概要及び特徴・価値

「ガマ」は、湧水や伏流水、あるいは上の段の水田からの浸透水などを集め、取水するためのもので、開田、山ノ上、大鬼木に1ヶ所ずつ、計3ヶ所で確認されている。

「ヨセ」は、石積みに沿った水路のことであり、上方の棚田からの水を一旦受けることで棚田が掘り込まれることを防ぐとともに、ヨセに面する水口から給水する役割を持つ。

いずれも棚田の水利システムとして重要である。

#### 位置図







ガマ



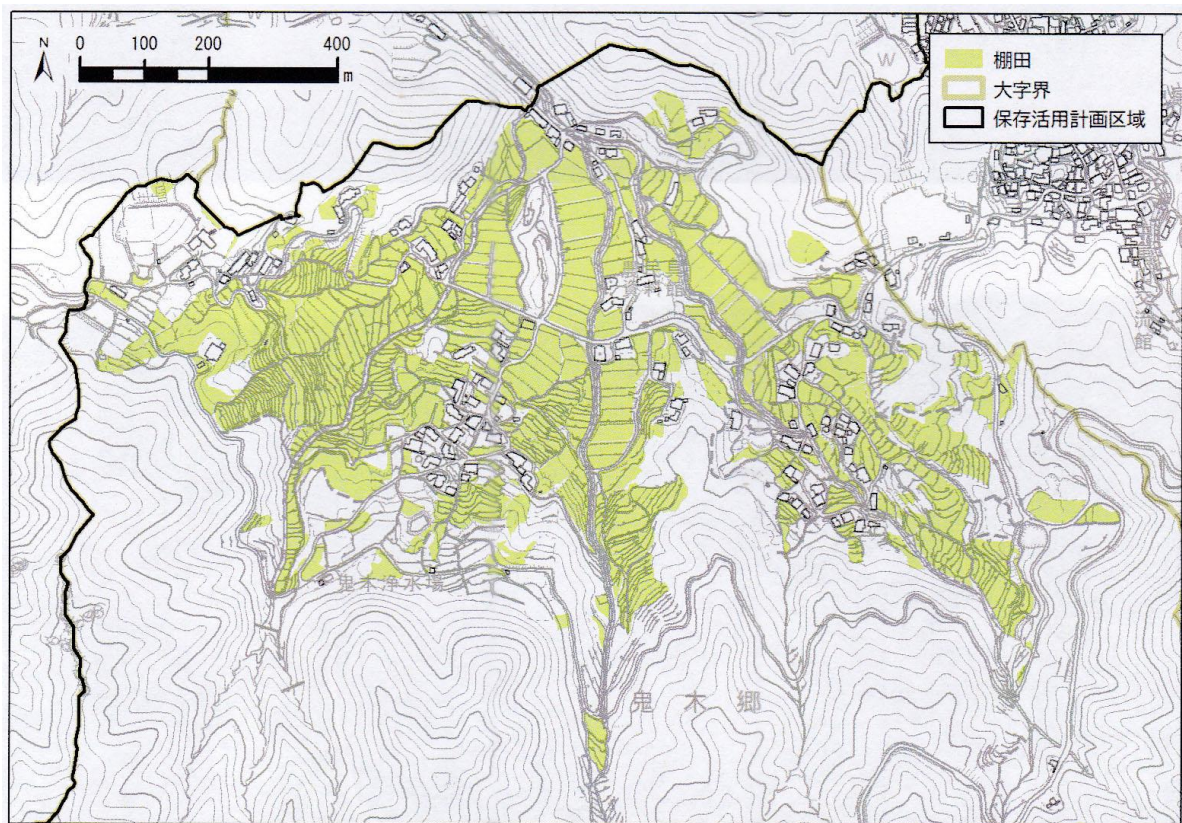
ヨセ



番号	55(R-Rt3)	種類	道路
景観単位	棚田区域	指定等	
要素名	道路（棚田）		
所在地	波佐見町鬼木郷全域		
所有者		管理者	鬼木棚田協議会
維持・保存対象	・道路（道路:R-Rt3） の位置と外観		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

概要及び特徴・価値			
田と田の間に通じる小道。棚田を行き来するために必要な道である。			

#### 位置図







畦道



畦道

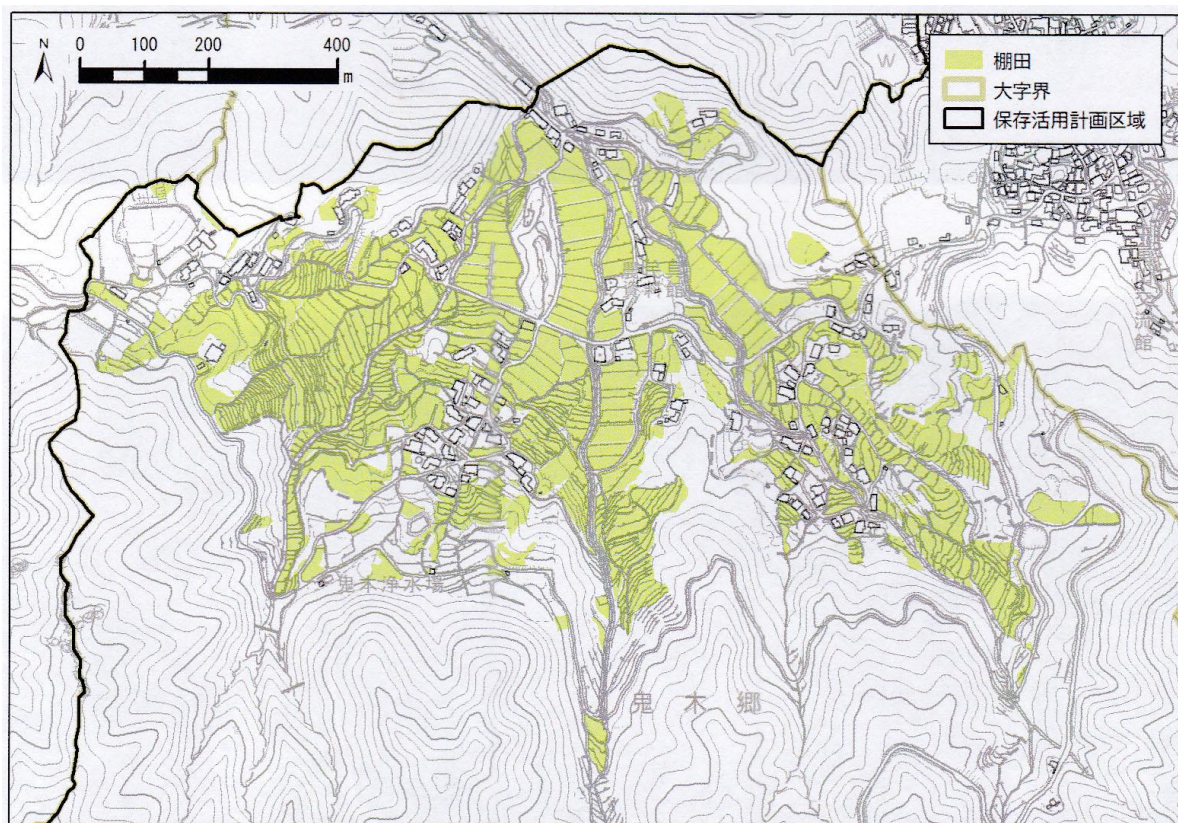


番号	56(R-Rt4)	種類	石垣
景観単位	棚田区域	指定等	
要素名	石垣（棚田）		
所在地	波佐見町鬼木郷全域		
所有者		管理者	鬼木棚田協議会
維持・保存対象	・ 工作物（石垣:R-Rt4） の位置と外観		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

#### 概要及び特徴・価値

鬼木郷では棚田は基本的に石垣で築かれている。石垣の石材は、約250～220万年前に噴火した虚空蔵火山の噴出物である凝灰角礫岩の礫であり、土中から掘り出して使用している。

#### 位置図







石垣



石垣

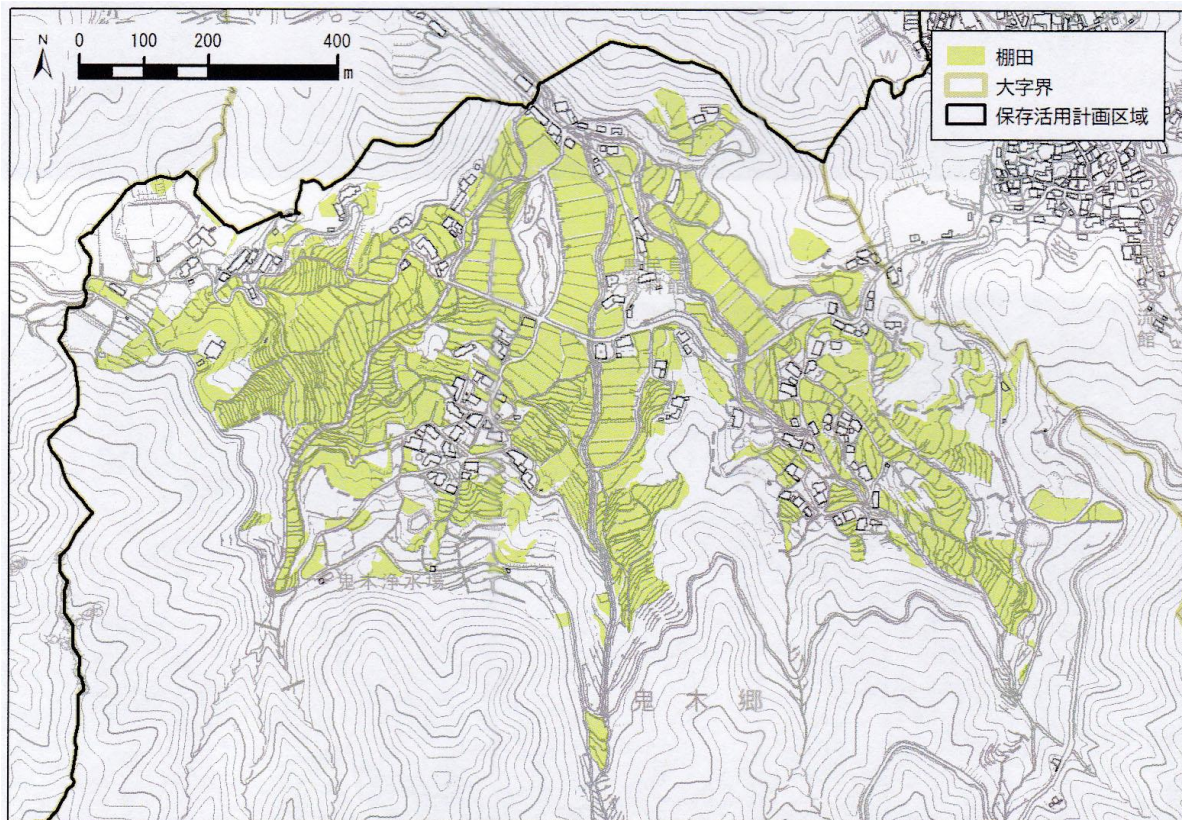


番号	57(R-Rt5)	種類	土羽
景観単位	棚田区域	指定等	
要素名	土羽（棚田）		
所在地	波佐見町鬼木郷全域		
所有者		管理者	鬼木棚田協議会
維持・保存対象	・ 工作物（土羽:R-Rt5） の位置と外観		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

#### 概要及び特徴・価値

鬼木郷の棚田は、基本的に石垣で構築されているが、昭和50年代以降、圃場整備が進められ一枚の面積が広くなった棚田については、石垣から土羽に変更している。土羽を有する棚田は、圃場整備が実施されたとみられる開田川右岸から大鬼木川にかけての下流域一帯、中ノ川内川の中流域一帯に分布している。

#### 位置図







土羽



土羽

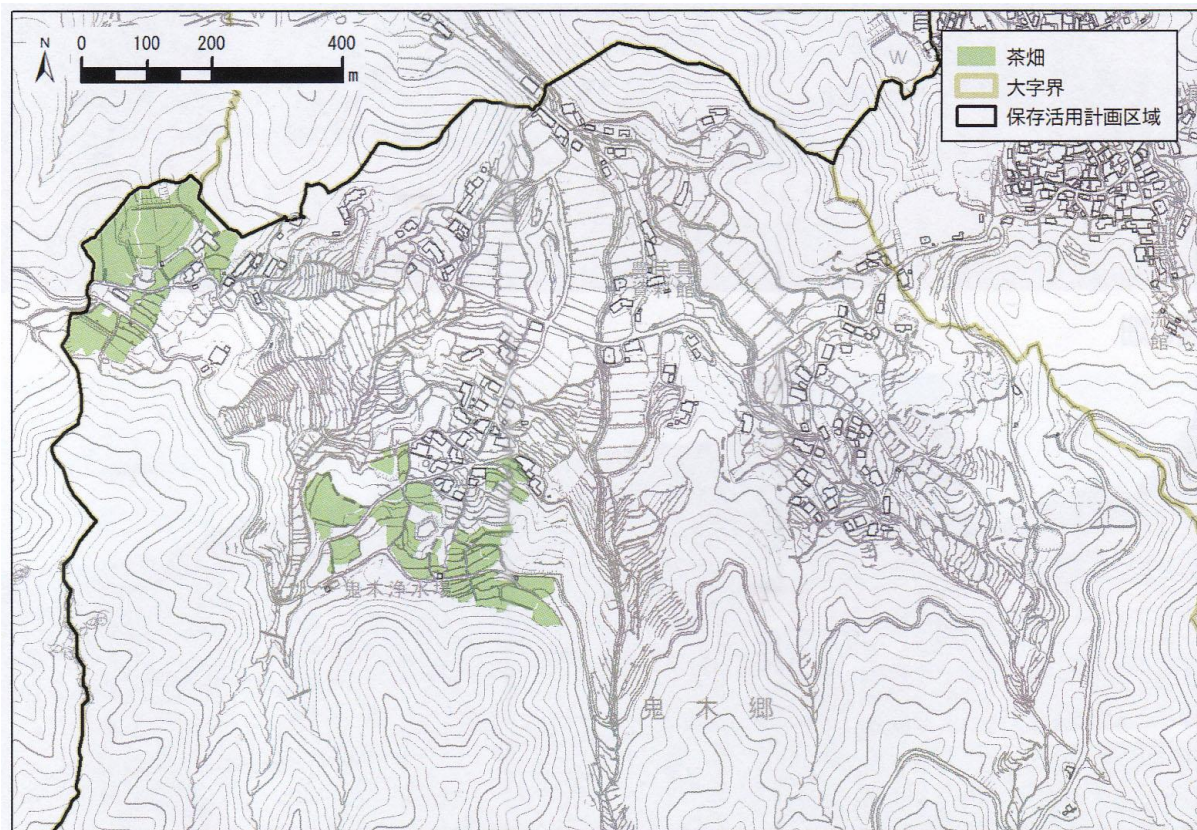


番号	58(R-T1)	種類	茶畑
景観単位	棚田区域	指定等	
要素名	茶畑		
所在地	波佐見町鬼木郷691他		
所有者	個人	管理者	
維持・保存対象	・茶畑（茶畑:R-T1） の位置と外観		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

#### 概要及び特徴・価値

鬼木郷における茶の生産は、1955年頃から栽培する農家が増加したといわれている。2018年には、鬼木郷の製茶業者のお茶が、日本茶の代表的な品評会である「日本茶 AWARD2018」において、準大賞に選ばれている。

#### 位置図







茶畑



茶畑

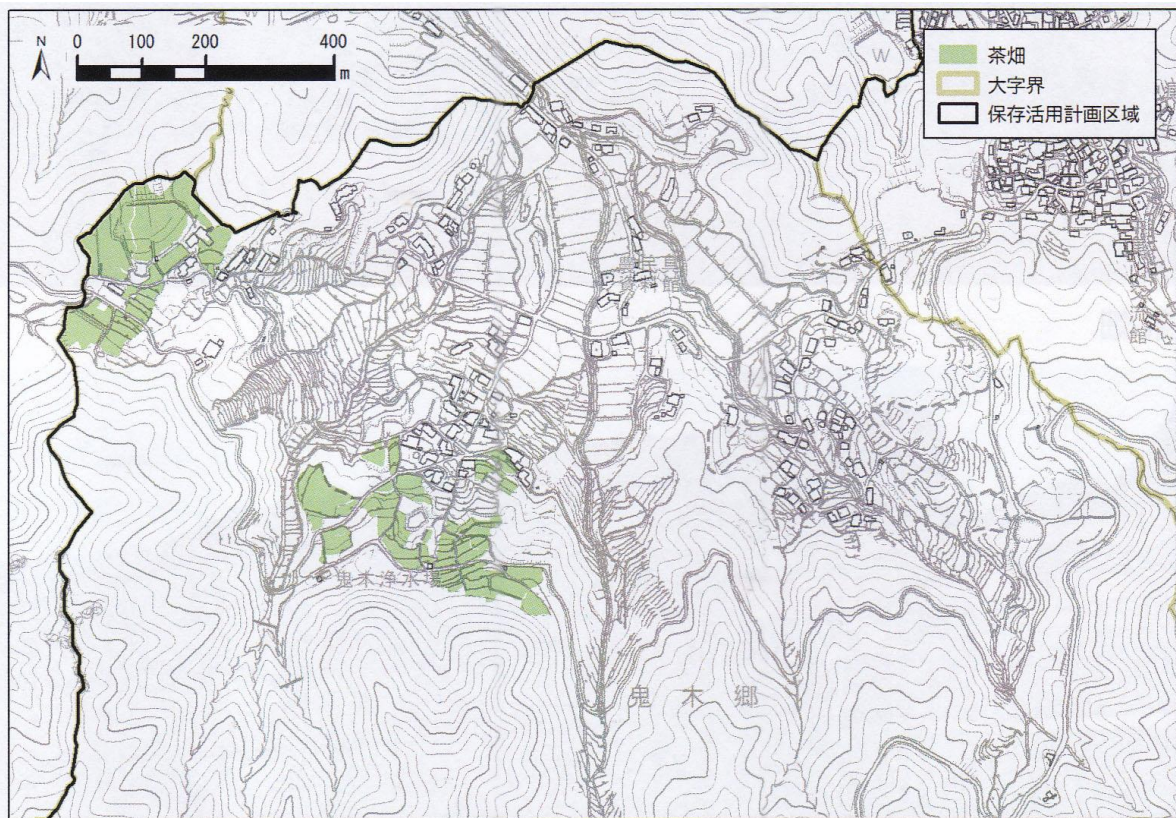


番号	59 (R-T2)	種類	石垣
景観単位	棚田区域	指定等	
要素名	石垣（茶畑）		
所在地	波佐見町鬼木郷691他		
所有者	個人	管理者	
維持・保存対象	・工作物（石垣:R-T2） の位置と外観		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

#### 概要及び特徴・価値

棚田と同様、鬼木郷では茶畑は基本的に石垣で築かれている。石垣の石材は、約250～220万年前に噴火した虚空蔵火山の噴出物である凝灰角礫岩の礫であり、土中から掘り出して使用している。

#### 位置図





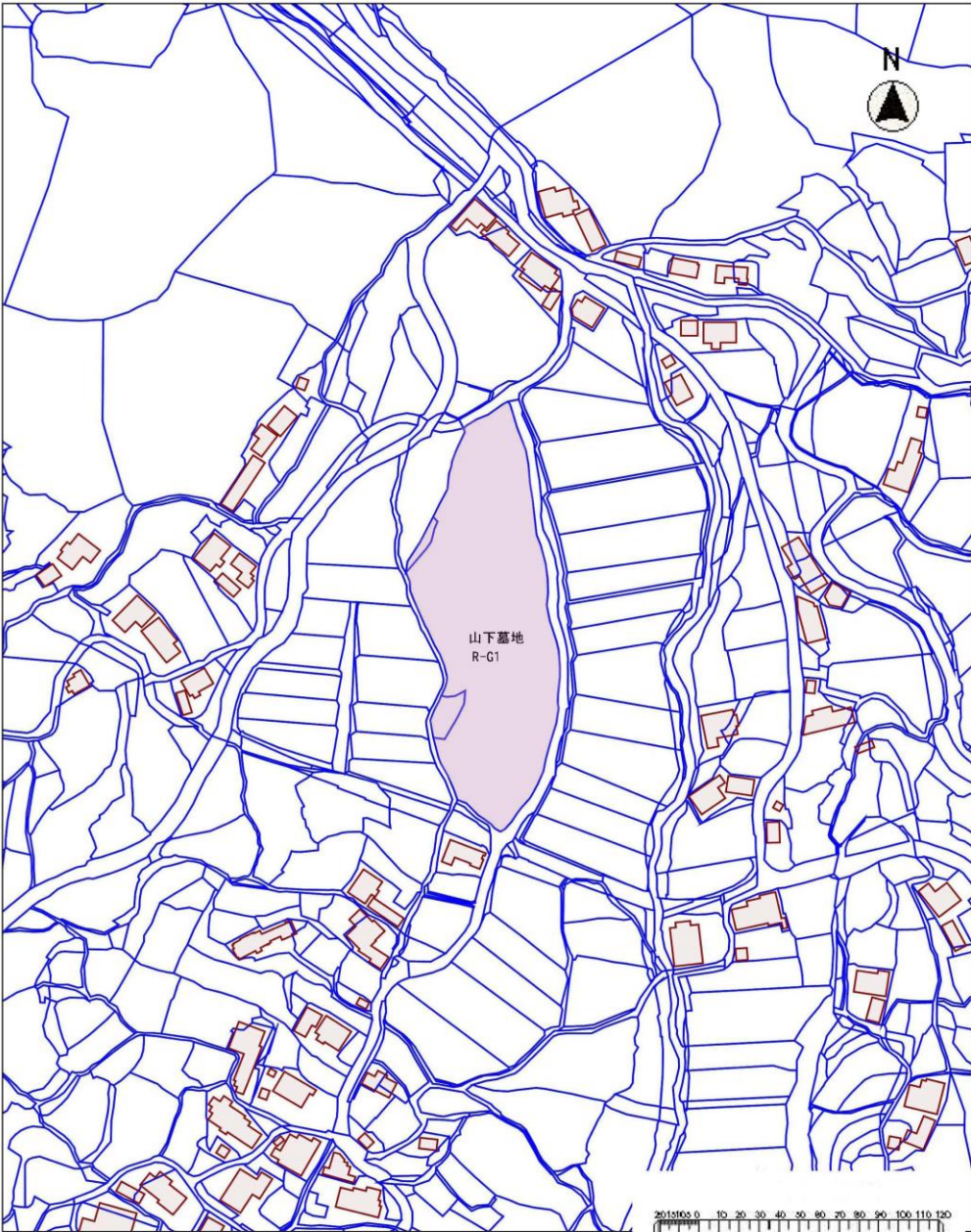


茶畑 石垣



茶畑 石垣



番号	60(R-G1)	種類	墓所
景観単位	棚田区域	指定等	
要素名	山下墓地		
所在地	波佐見町鬼木郷202		
所有者		管理者	鬼木郷
維持・保存対象	・敷地（墓所:R-G1） の位置と外観		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更		
概要及び特徴・価値			
墓地には、五輪塔など中世墓塔もみられ、すでに中世期に墓所となっていた可能性がある。688基以上の墓石等の石造物がみられ、鬼木郷に居住してきた人々の歴史を伝えている。また、墓所には、聖徳太子を祀る祠が設けられている。			
位置図			
			





山下墓地（南西から）



山下墓地（北から）



番号	61 (R-G2)	種類	墓所			
景観単位	棚田区域	指定等				
要素名	中ノ尾墓地					
所在地	波佐見町鬼木郷1457					
所有者		管理者	波佐見町			
維持・保存対象	・敷地（墓所:R-G2） の位置と外観					
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の位置と外観の変更					
概要及び特徴・価値						
墓地には、467基以上の墓石等の石造物が存在する。鬼木郷に居住してきた人々の歴史を伝えている。						
位置図						
						



中ノ尾墓地（北西から）



中ノ尾墓地（南東から）

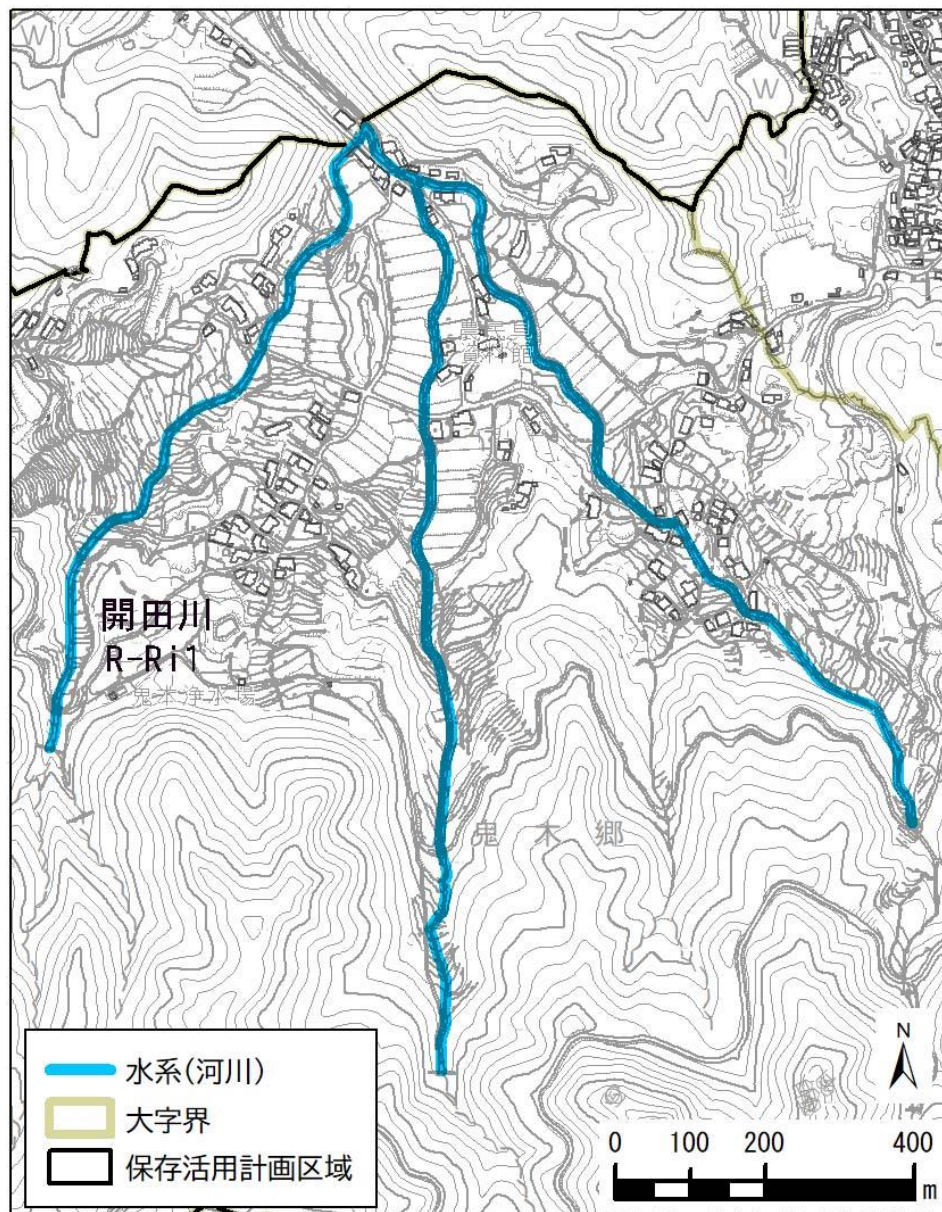


番号	62(R-Ri1)	種類	河川
景観単位	棚田区域	指定等	
要素名	開田川		
所在地	波佐見町鬼木郷内流域		
所有者		管理者	長崎県、波佐見町
維持・保存対象	・河川:R-Ri1 の河道、幅、深さ		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の変更		

#### 概要及び特徴・価値

鬼木郷を流れる3本の河川の一つ。集落を南西から北東に流れている。河川の水源である集落の南部山間地は、虚空蔵火山の噴火により形成された凝灰角礫岩で構成されており、その岩質は多孔質で水を貯めることから、途切れることのない水を提供し続けた。このような河川がもたらす豊富な水は、集落に居住する人々の生活を支えるだけでなく、棚田や畑などの営農に利用され、農業を継続的・発展的に営む上で非常に重要な意味を持った。

#### 位置図





開田川（北東 下流から）



開田川（北東 下流から）

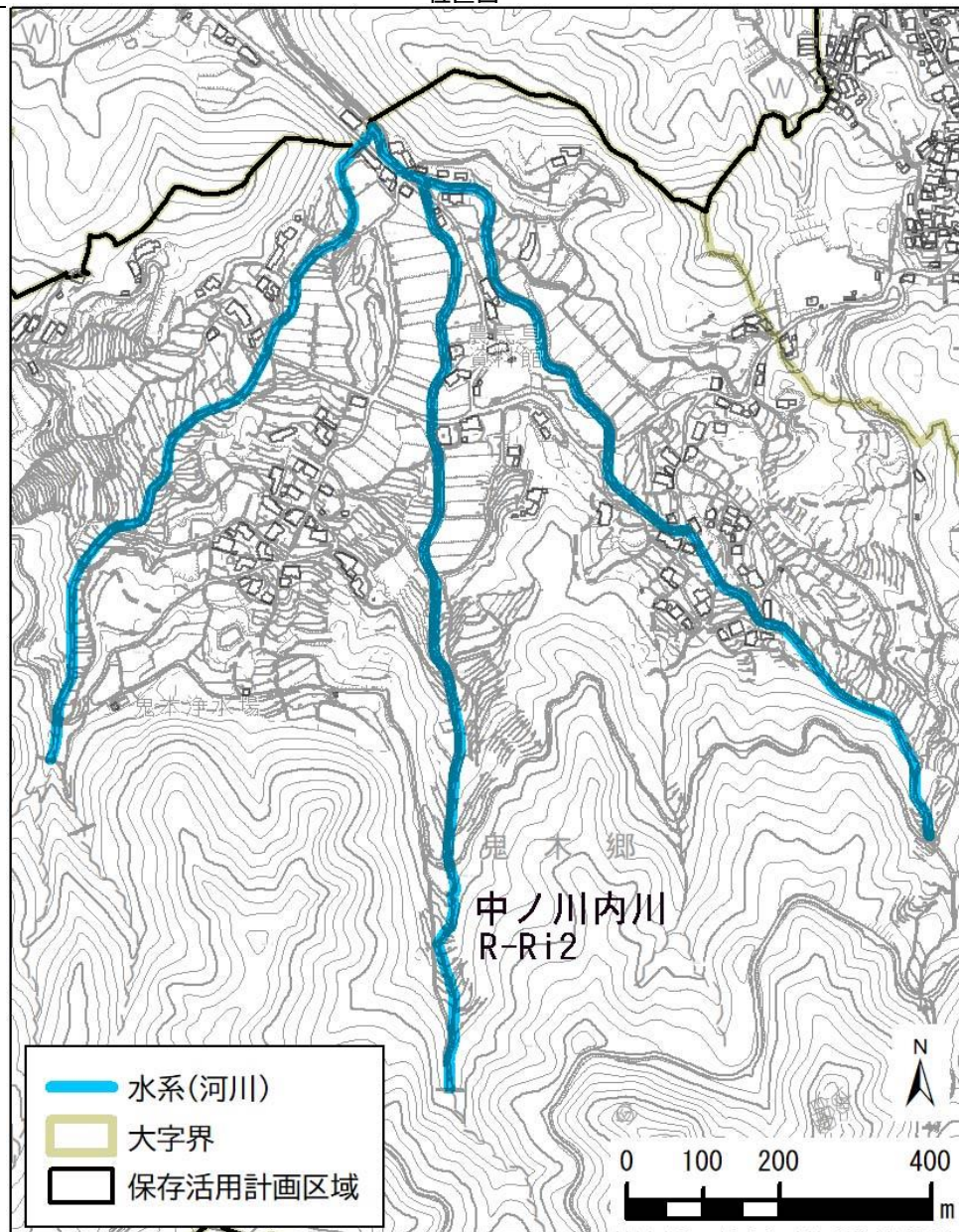


番号	63(R-Ri2)	種類	河川
景観単位	棚田区域	指定等	
要素名	中ノ川内川		
所在地	波佐見町鬼木郷内流域		
所有者		管理者	波佐見町
維持・保存対象	・河川:R-Ri2 の河道		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の河道の変更		

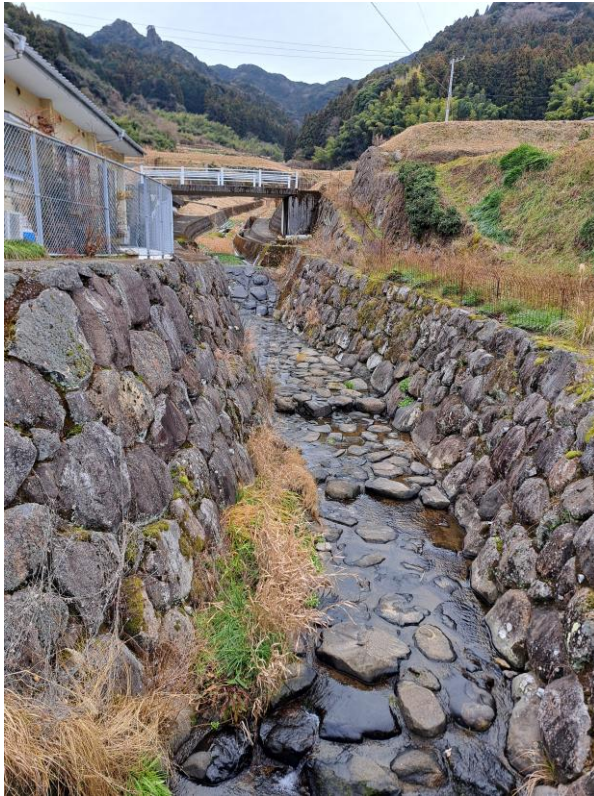
#### 概要及び特徴・価値

鬼木郷を流れる3本の河川の一つ。集落を南から北に流れている。河川の水源である集落の南部山間地は、虚空蔵火山の噴火により形成された凝灰角礫岩で構成されており、その岩質は多孔質で水を貯めることから、途切れることのない水を提供し続けた。このような河川がもたらす豊富な水は、集落に居住する人々の生活を支えるだけでなく、棚田や畑などの営農に利用され、農業を継続的・発展的に営む上で非常に重要な意味を持った。

位置図







中ノ川内川（北 下流から）



中ノ川内川（南 上流から）

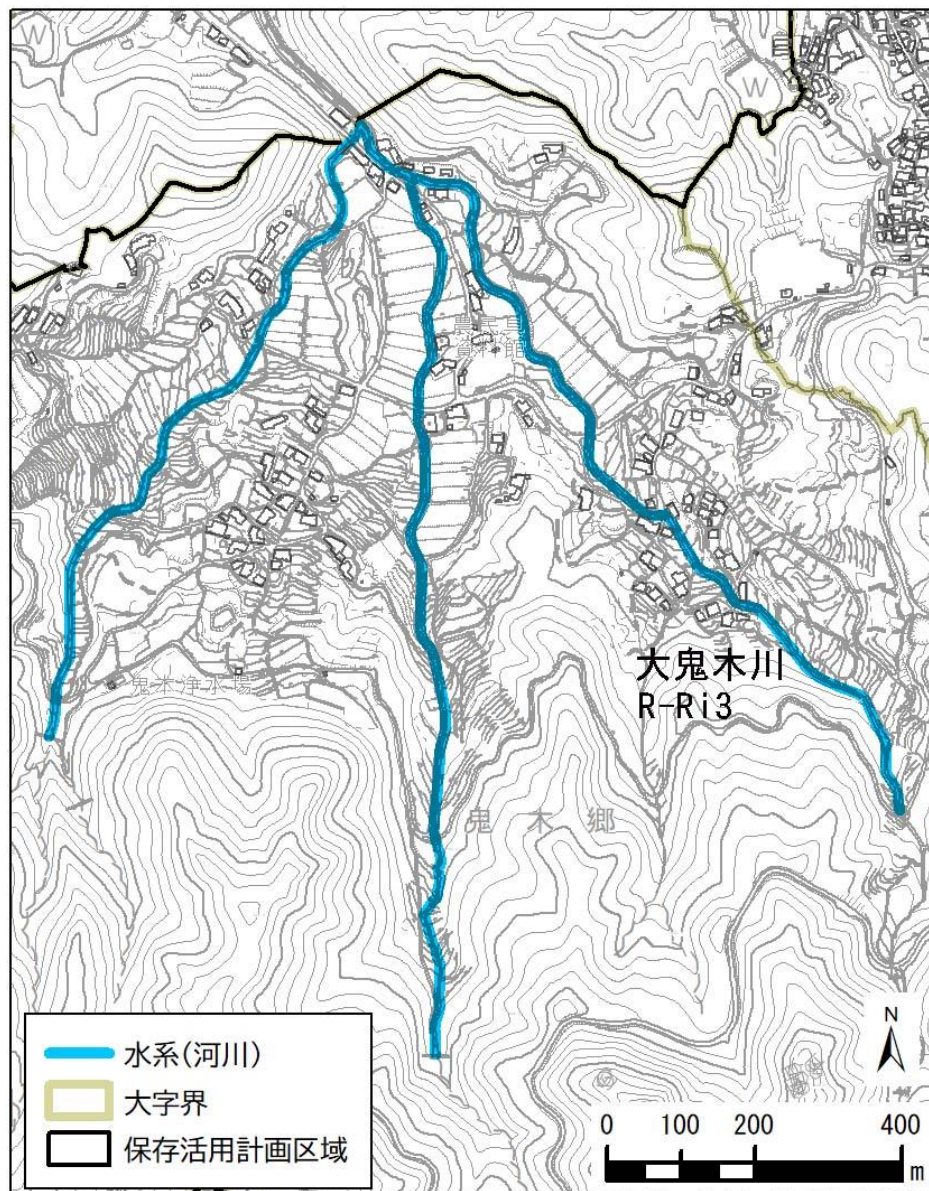


番号	64(R-Ri3)	種類	河川
景観単位	棚田区域	指定等	
要素名	大鬼木川		
所在地	波佐見町鬼木郷内流域		
所有者		管理者	波佐見町
維持・保存対象	・河川:R-Ri3 の河道		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の河道の変更		

#### 概要及び特徴・価値

鬼木郷を流れる3本の河川の一つ。集落を南東から北西に流れている。河川の水源である集落の南部山間地は、虚空蔵火山の噴火により形成された凝灰角礫岩で構成されており、その岩質は多孔質で水を貯めることから、途切れることのない水を提供し続けた。このような河川がもたらす豊富な水は、集落に居住する人々の生活を支えるだけでなく、棚田や畑などの営農に利用され、農業を継続的・発展的に営む上で非常に重要な意味を持った。

#### 位置図





大鬼木川（北西 下流から）



大鬼木川（北西 下流から）



番号	65(R-Ri4)	種類	用排水路
景観単位	棚田区域	指定等	
要素名	西ノ川川		
所在地	波佐見町鬼木郷内流域		
所有者		管理者	鬼木郷
維持・保存対象	・水路・R-Ri4 の河道、幅、深さ		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の変更		

概要及び特徴・価値			
集落を西から東に流れる水路で開田川に合流する。郷西部の棚田に水を供給している。			

位置図





西ノ川川（南西 上流から）



番号	66(R-Ri5)	種類	用排水路
景観単位	棚田区域	指定等	
要素名	山ノ上川		
所在地	波佐見町鬼木郷内流域		
所有者		管理者	鬼木郷
維持・保存対象	・水路：R-Ri5 の河道、幅、深さ		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の変更		
概要及び特徴・価値			

集落を南から北に流れる水路で開田川に合流する。郷中央部の棚田に水を供給している。

位置図





山ノ上川（北東 上流から）



番号	67(R-Ri6)	種類	用排水路
景観単位	棚田区域	指定等	
要素名	ウルド川		
所在地	波佐見町鬼木郷内流域		
所有者		管理者	鬼木郷
維持・保存対象	・水路・R-Ri6 の河道、幅、深さ		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の変更		

概要及び特徴・価値			
集落を南から北に流れる水路で大鬼木川に合流する。郷東部の棚田に水を供給している。			

位置図





ウルド川（北東 下流から）



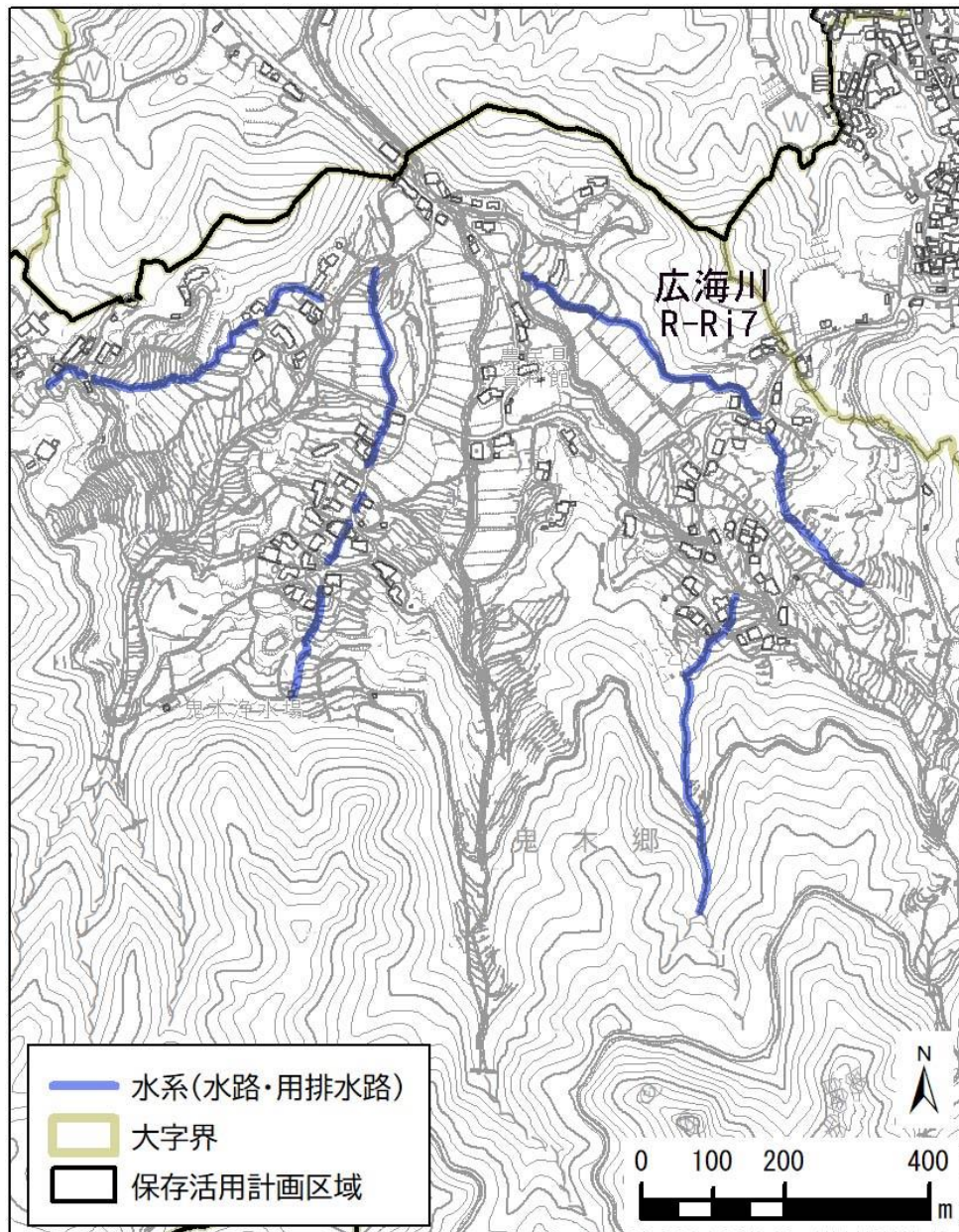
ウルド川（南 上流から）



番号	68(R-Ri7)	種類	用排水路
景観単位	棚田区域	指定等	
要素名	広海川		
所在地	波佐見町鬼木郷内流域		
所有者		管理者	鬼木郷
維持・保存対象	・水路・R-Ri7 の河道、幅、深さ		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	上記維持・保存対象の変更		

概要及び特徴・価値			
集落を南東から北西に流れる水路で大鬼木川に合流する。郷東部の棚田に水を供給している。			

位置図





広海川（南東 上流から）



番号	69(R-V1)	種類	視点場			
景観単位	棚田区域	指定等				
要素名	山の上展望所					
所在地	波佐見町鬼木郷280					
所有者	個人	管理者				
維持・保存対象	・敷地（視点場：R-V1） の位置と外観					
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	・上記維持・保存対象の位置と外観の変更					
概要及び特徴・価値						
郷民により土地が提供され、展望所として整備された。鬼木郷の棚田、茶畑、集落などが一望できる。眺望スポットの一つ。						
位置図						
						

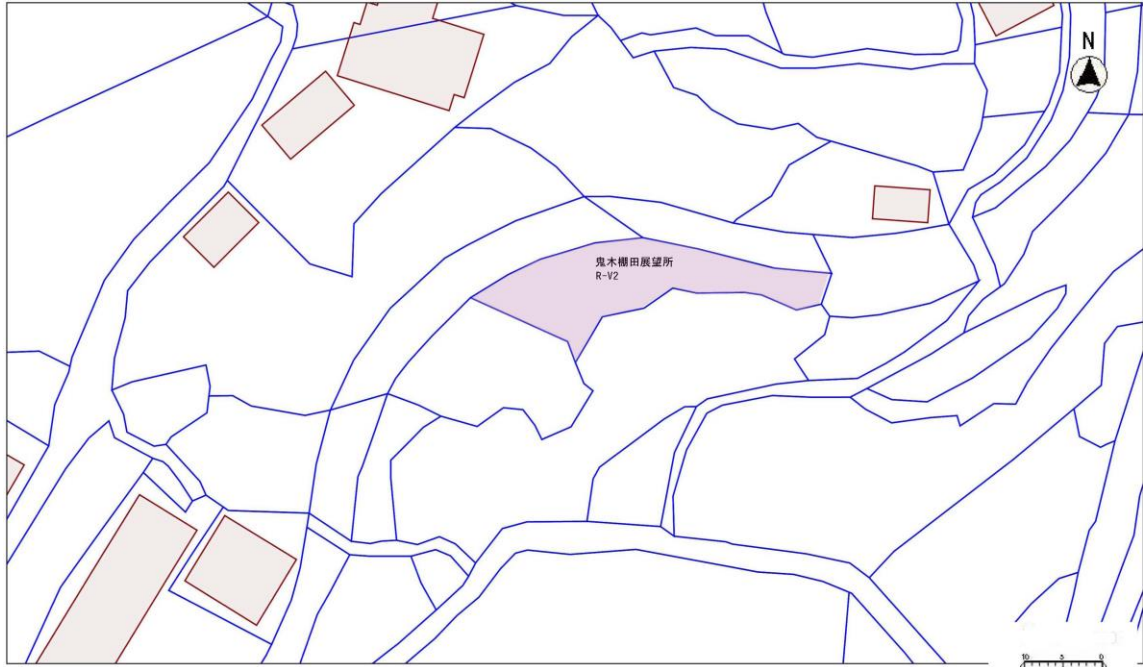


山の上尾展望所（南から）



山の上展望所からの眺望（南東から）



番号	70(R-V2)	種類	視点場
景観単位	棚田区域	指定等	
要素名	鬼木棚田展望所		
所在地	波佐見町鬼木郷122-3他		
所有者	波佐見町	管理者	
維持・保存対象	・敷地（視点場：R-V2） の位置と外観		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	・上記維持・保存対象の位置と外観の変更		
概要及び特徴・価値			
鬼木郷の棚田、茶畑、集落などが一望できる。敷地内には「日本棚田百選認定書」や長崎県まちづくり景観資産のプレートが設置されている。眺望スポットの一つ。			
位置図			
			



鬼木棚田展望所（南西から）



鬼木棚田展望所からの眺望（南東から）

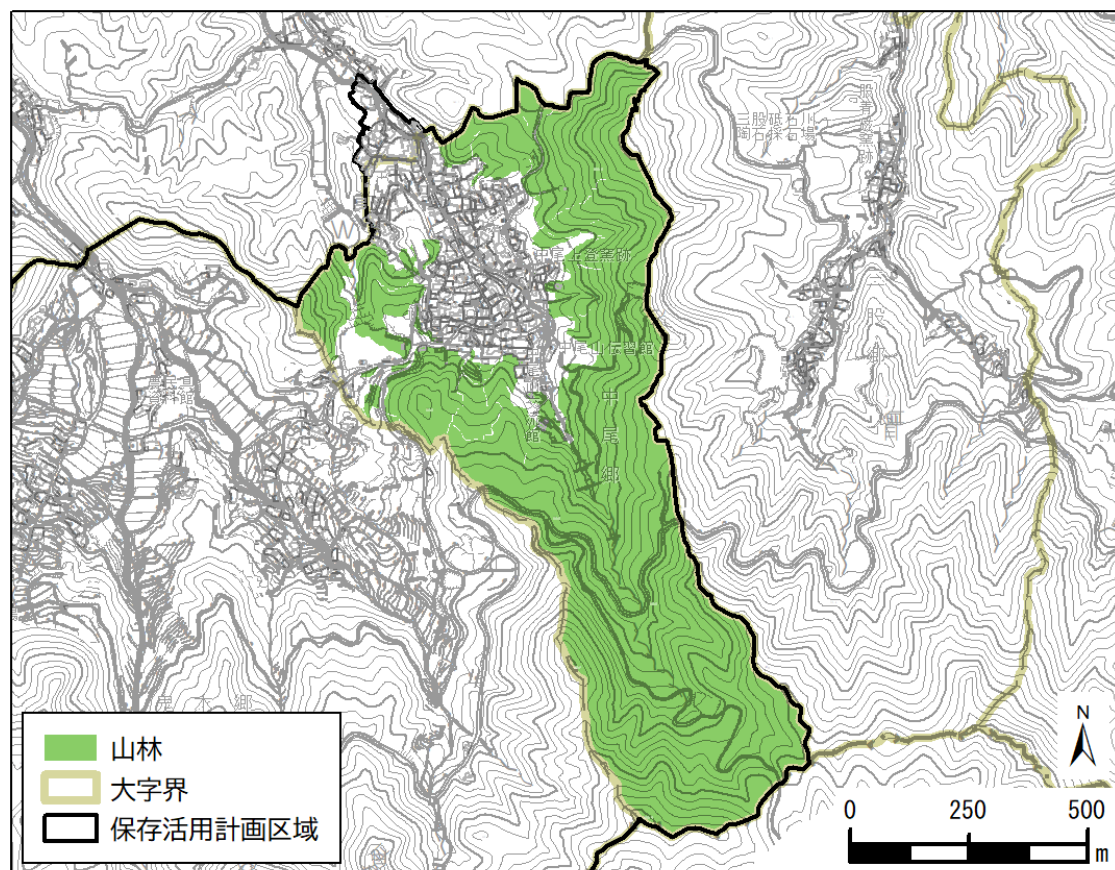


番号	71(F-F1)	種類	山林
景観単位	里山区域	指定等	
要素名	中尾郷集落周辺山林部		
所在地	波佐見町中尾郷全域		
所有者		管理者	中尾郷
維持・保存対象	・山林：F-F1 の位置と外観		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	・上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

#### 概要及び特徴・価値

中尾郷集落を取り囲む山林部は、かつては赤松が植林され、登り窯の焼成に用いられた薪を供給していた。また山林部の雑木や果樹、生息する動物などは、採集、捕獲され集落の人々の日常生活を支え続けた。

#### 位置図



※資料：R3森林計画図



中尾郷集落周辺山林部（東側）



中尾郷集落周辺山林部（南側）

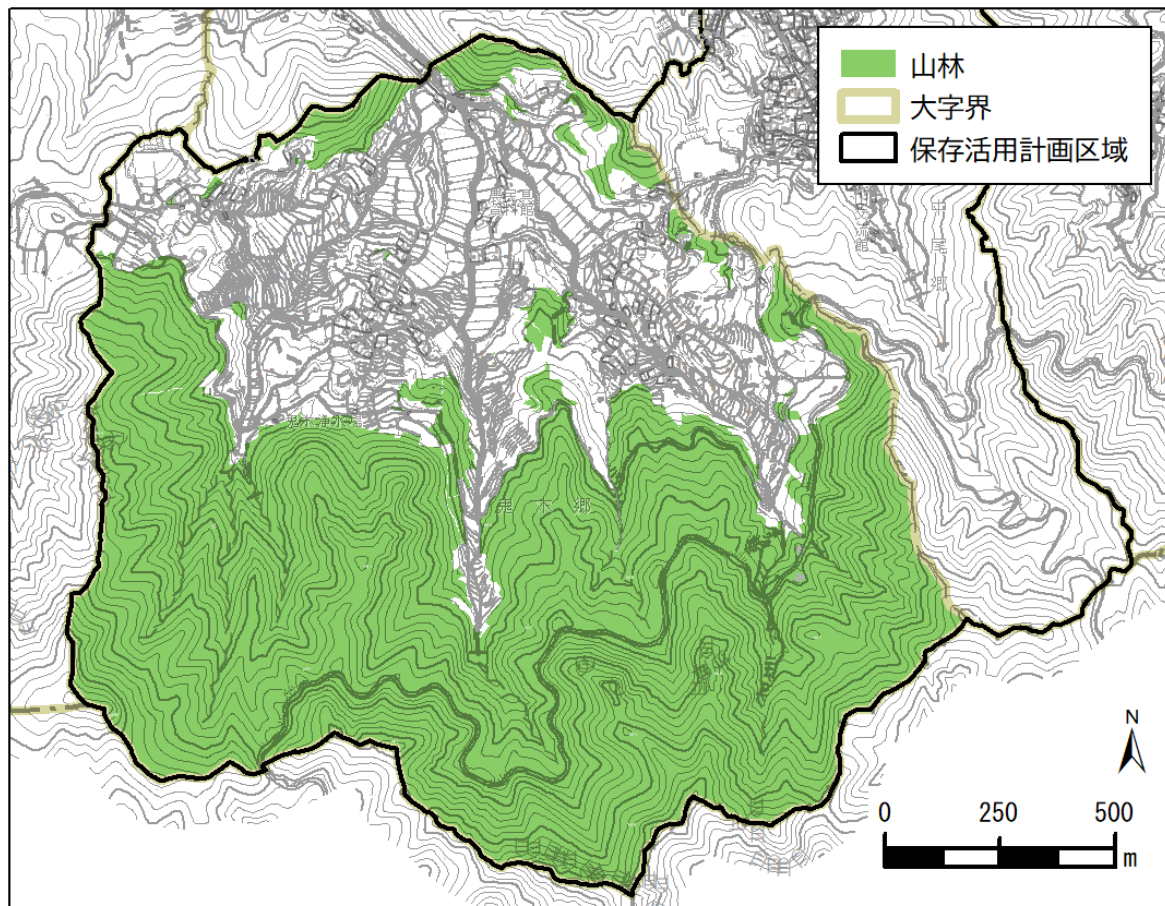


番号	72(F-F2)	種類	山林
景観単位	里山区域	指定等	
要素名	鬼木郷集落周辺山林部		
所在地	波佐見町鬼木郷全域		
所有者		管理者	鬼木郷
維持・保存対象	・ 山林：F-F2 の位置と外観		
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	・ 上記維持・保存対象の位置と外観の変更		

#### 概要及び特徴・価値

鬼木郷集落を取り囲む山林部では、雑木や果樹、生息する動物などが採集、捕獲され、集落の人々の日常生活を支え続けた。また、やきもの焼成に用いた赤松などを、中尾郷へ供給していた。また、山林には、約250～220万年前に噴火した虚空蔵火山の噴出物である凝灰角礫岩が、風雨によって長い年月をかけて削り出された「鉈岩」などの奇岩がそびえ立っている。

#### 位置図



※資料：R3森林計画図



鬼木郷集落周辺山林部（南側）



鬼木郷集落周辺山林部（南側）



番号	73(F-V2)	種類	視点場			
景観単位	里山区域	指定等				
要素名	開田城跡					
所在地	波佐見町鬼木郷182					
所有者	個人	管理者				
維持・保存対象	・敷地（視点場：F-V2） の位置と外観					
現状変更及び保存に影響を及ぼす行為	・上記維持・保存対象の位置と外観の変更					
概要及び特徴・価値						
郷の南端に位置する山の頂上付近には、中世城郭である開田城が存在する。現在、頂上付近は雑木で覆われているが、そこからは鬼木郷全体、また、中尾郷も眺望することができると考えられる。展望所としての活用が見込まれる。						
位置図						
						



開田城（南東から）



開田城（南から）